

I 主要な業務に関する指標

1 主要な業務の状況および共済契約に関する指標

1 共済事業の経過と実績	69
2 実施会員数	70
3 加入者数	70
4 新契約高	71
5 保有契約高・保有契約高増加率	71
6 保障機能別保有契約高	72
7 受入共済掛金	73
8 受入共済金・支払共済掛金・支払返戻金	73
9 共済金支払件数	74
10 支払共済金額	75
11 新契約平均共済金額	76
12 保有契約平均共済金額	76
13 解約失効率	76
14 月払契約の新契約平均共済掛金	76
15 契約者割戻しの状況	77
16 再共済（再保険）実施状況	82
17 第三分野共済の共済契約に係る給付事由又は共済事業の種類ごとの発生共済金額の経過共済掛金に対する割合	83
18 契約年度別責任準備金残高および予定利率	83
19 受託共済の状況	84

2 経理に関する指標

1 責任準備金の積立方式および積立率	85
2 契約者割戻準備金明細	85
3 引当金明細表	85
4 法定準備金および任意積立金明細(剰余金処分前)	86
5 事業経費の明細	87
6 経常剰余金	87
7 支払率	87
8 事業費率	87

3 資産運用に関する指標

1 主要資産の区分別平均残高および運用利回り	88
2 主要資産の区分別構成および増減	88
3 区分別の資産運用収益明細	89
4 区分別の資産運用費用明細	89
5 利息および配当金収入明細	89
6 有価証券の種類別・残存期間別残高	90
7 業種別保有株式の額・貸付金関連・海外投資関連	92
8 リスク管理債権の状況	93
9 債務者区分による債権の状況	93
10 有価証券および金銭の信託の時価情報	93
11 デリバティブ取引の時価情報	94

4 主要な経営指標

1 支払余力比率	95
2 利源別損益	96
3 自己資本比率	96

5 その他の指標

業務用固定資産残高	97
-----------	----

II 財産の状況に関する事項

1 貸借対照表	98	4 注記事項	102
2 損益計算書	100	5 剰余金処分計算書	106
3 部門別損益計算書	101		

I 主要な業務に関する指標

1

主要な業務の状況および共済契約に関する指標

本誌のデータは、コープ共済連引受のCO・OP共済事業の主な指標です。

◎ 主なCO・OP共済商品別共済事業規約

事業規約名 商品名	元受共済								受託共済 (全国労働者共済生活協同組合連合会元受共済)			
	生命共済	住宅災害 共済	こども 共済	定期生命 共済	終身共済	学生総合 共済	短期生命 共済	短期火災 共済	個人長期 生命共済	火災共済	自然災害 共済	自動車総合 補償共済
《たすけあい》	○	○	○									
《あいづらす》				○								
《ずっとあい》					○							
《学生総合共済》						○	○	○				
《新あいあい》									○			
火災共済										○	○	
マイカー共済												○

注1. 《学生総合共済》のうち募集停止済の一部のご契約は短期生命共済・短期火災共済事業により実施しています。

1 共済事業の経過と実績

(単位: 百万円/百万円未満切り捨て)

項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
加入者数(単位: 人)	8,374,294	8,500,502	8,678,218	8,820,059	9,705,130
契約口数(単位: 口)	124,368,460	125,899,547	128,524,122	130,863,788	150,538,476
契約高(単位: 億円)	124,368	125,899	128,524	130,863	150,538
共済金支払件数(単位: 件)	1,354,095	1,381,932	1,298,837	1,441,782	2,878,428
受入共済掛金	191,032	194,888	200,950	206,273	211,729
支払共済金	67,352	68,934	67,479	72,460	152,859
経常収益	225,541	230,788	238,452	244,658	251,560
共済掛金等収入	192,327	196,343	201,987	207,359	213,671
共済契約準備金戻入額	30,974	31,850	33,485	34,300	35,128
資産運用収益	1,752	2,073	2,457	2,320	2,245
経常費用	177,797	180,842	184,579	200,470	275,727
共済金等支払額	101,448	104,069	103,191	110,327	187,403
共済契約準備金繰入額	19,006	18,826	21,656	26,725	17,269
資産運用費用	128	155	213	292	262
経常損失金(△)または経常剰余金	47,743	49,946	53,873	44,188	△ 24,166
基礎利益	50,980	51,961	58,363	45,602	△ 21,885
割戻準備金繰入額	34,856	35,401	35,762	32,229	511

- 注1. 契約口数は、基本契約の契約口数です。共済金額10万円を1口として計算しています。
2. 契約高は、生命共済、こども共済、定期生命共済、終身共済および学生総合共済の各共済事業における死亡・重度障害共済金額の引受額の合計です。
3. 共済掛金等収入額＝受入共済掛金＋受入共済金＋受入受託手数料
4. 共済金等支払額＝支払共済金＋支払共済掛金＋支払返戻金＋支払割戻金
5. 基礎利益は、経常剰余金－キャピタル損益－臨時損益で計算しています。
- ※ キャピタル損益＝キャピタル収益(金銭の信託運用益＋売買目的有価証券運用益＋有価証券売却益＋金融派生商品収益＋為替差益＋その他キャピタル収益)－キャピタル費用(金銭の信託運用損＋売買目的有価証券運用損＋有価証券売却損＋有価証券評価損＋金融派生商品費用＋為替差損＋その他キャピタル費用)
- ただし、キャピタル収益(費用)の各項目のうち、インカム・ゲイン(ロス)にあたる額は基礎利益の計算に含める扱いとしています。
- ※ 臨時損益＝臨時収益(再保険収入＋危険準備金戻入額＋その他臨時収益)－臨時費用(再保険料＋危険準備金繰入額＋個別貸倒引当金繰入額＋特定海外債券引当勘定繰入額＋貸付金償却＋その他臨時費用)

2 実施会員数

(単位：会員)

共済事業の種類	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	前年度差
《たすけあい》 生命共済・住宅災害共済・こども共済	141	142	142	141	141	0
《あいづらす》 定期生命共済	141	142	142	141	140	△ 1
《ずっとあい》 終身共済	136	137	137	138	136	△ 2
《学生総合共済》 学生総合共済	—	—	—	—	349	349

注1. 学生総合共済は学生総合共済事業のほか、短期生命共済事業と短期火災共済事業を含みます。

3 加入者数

(単位：人、%)

共済事業の種類		2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	前年度差	前年度比
生命共済・ 住宅災害共済	コース等							
	女性コース・ ベーシックコース	1,658,049	1,674,698	1,706,516	1,708,396	—	△1,708,396	—
	医療コース	1,376,854	1,400,995	1,435,726	1,429,657	55,646	△1,374,011	3.9
	ウェルカムコース	25,761	23,037	20,655	18,611	14,624	△ 3,987	78.6
	一般コース	75,335	66,335	58,482	51,431	40,284	△ 11,147	78.3
	《たすけあい》 ケガ通院コース	29,844	26,934	24,520	22,265	18,281	△ 3,984	82.1
	シルバー70コース	13,441	9,067	4,900	1,361	—	△ 1,361	—
	告知緩やかコース	—	—	—	—	749,621	749,621	—
	大人向けコース(女性、男性)	—	—	—	—	2,286,506	2,286,506	—
	その他のコース	8,028	7,174	6,363	5,624	4,685	△ 939	83.3
	小 計	3,187,312	3,208,240	3,257,162	3,237,345	3,169,647	△ 67,698	97.9
こども共済	《たすけあい》 ジュニアコース	2,729,263	2,713,550	2,706,528	2,764,974	2,920,627	155,653	105.6
	小 計	2,729,263	2,713,550	2,706,528	2,764,974	2,920,627	155,653	105.6
定期生命共済	《あいづらす》 生命コース	905,747	936,475	968,190	989,278	999,535	10,257	101.0
	入院付生命コース	380,356	378,281	382,187	379,158	370,406	△ 8,752	97.7
	ゴールド80・ゴールド85	486,339	458,087	431,545	402,586	373,788	△ 28,798	92.8
	プラチナ85	132,807	196,106	255,056	305,124	347,888	42,764	114.0
	小 計	1,905,249	1,968,949	2,036,978	2,076,146	2,091,617	15,471	100.7
終身共済	《ずっとあい》 終身生命	90,167	101,979	116,931	131,834	144,463	12,629	109.6
	終身医療	462,303	507,784	560,619	609,760	659,184	49,424	108.1
	小 計	552,470	609,763	677,550	741,594	803,647	62,053	108.4
学生総合共済	《学生総合 共済》 学生総合共済	—	—	—	—	697,700	697,700	—
	新社会人コース	—	—	—	—	15,556	15,556	—
	短期火災共済	—	—	—	—	6,336	6,336	—
	小 計	—	—	—	—	719,592	719,592	—
合 計		8,374,294	8,500,502	8,678,218	8,820,059	9,705,130	885,071	110.0

注1. 生命共済・住宅災害共済は2022年度にV1000円コースを改善した告知緩やかコースと女性コース・医療コース・ベーシックコースの保障内容を改善した大人向けコースを新設し、既存加入者の告知緩やかコース・大人向けコースへの一斉変更を行いました。

2. 学生総合共済の「学生総合共済」には短期生命共済を含みます。

4 新契約高

(単位：億円/億円未満切り捨て)

共済事業の種類	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
生命共済	1,099	1,100	1,149	1,010	1,426
こども共済	2,533	2,549	2,539	2,660	3,014
定期生命共済	5,388	5,567	5,758	4,996	4,102
終身共済 (生命)	412	437	499	519	483
学生総合共済	—	—	—	—	1,894
合 計	9,434	9,654	9,947	9,187	10,921

注1. 終身共済 (医療) には死亡保障がないため、契約高には反映されません。

5 保有契約高・保有契約高増加率

(単位：億円/億円未満切り捨て、%)

共済事業の種類	2018年度		2019年度		2020年度		2021年度		2022年度	
	金額	増加率	金額	増加率	金額	増加率	金額	増加率	金額	増加率
生命共済	26,294	△ 1.5	25,984	△ 1.2	25,916	△ 0.3	25,504	△ 1.6	34,903	36.9
こども共済	32,241	△ 0.9	31,956	△ 0.9	31,862	△ 0.3	32,951	3.4	35,337	7.2
定期生命共済	63,641	2.9	65,465	2.9	67,865	3.7	69,148	1.9	69,522	0.5
終身共済 (生命)	2,191	15.3	2,492	13.7	2,880	15.6	3,259	13.2	3,581	9.9
学生総合共済	—	—	—	—	—	—	—	—	7,192	—
合 計	124,368	1.1	125,899	1.2	128,524	2.1	130,863	1.8	150,538	15.0

注1. 契約高増加率=期中契約高増加額÷前期末契約高

2. 終身共済 (医療) には死亡保障がないため、契約高には反映されません。

3. 学生総合共済には短期生命共済を含みます。

6 保障機能別保有契約高

(単位：百万円/百万円未満切り捨て)

区 分		共済事業の種類	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
死亡保障	死 亡	生命共済	2,629,440	2,598,438	2,591,616	2,550,436	3,490,385
		こども共済	3,224,162	3,195,661	3,186,257	3,295,113	3,533,783
		定期生命共済	6,364,125	6,546,587	6,786,506	6,914,876	6,952,293
		終身共済	219,118	249,267	288,032	325,953	358,107
		学生総合共済	—	—	—	—	719,278
		合 計	12,436,845	12,589,954	12,852,412	13,086,378	15,053,847
	災害死亡	生命共済	2,878,561	2,898,721	2,946,350	2,933,588	3,486,062
		こども共済	1,728,141	1,718,060	1,718,274	1,783,169	1,917,363
		学生総合共済	—	—	—	—	352,462
		合 計	4,606,702	4,616,781	4,664,624	4,716,758	5,755,888
入院保障	疾病入院	生命共済	14,227	14,321	14,548	14,483	19,945
		こども共済	16,273	16,171	16,126	16,516	17,503
		定期生命共済	3,790	3,907	4,053	4,126	4,146
		終身共済	2,014	2,229	2,480	2,714	2,932
		学生総合共済	—	—	—	—	7,127
		合 計	36,306	36,630	37,208	37,840	51,656
	災害入院	生命共済	14,219	14,313	14,539	14,474	19,917
		こども共済	16,585	16,481	16,435	16,830	17,746
		定期生命共済	3,517	3,482	3,483	3,431	4,146
		終身共済	2,014	2,229	2,480	2,714	2,932
		学生総合共済	—	—	—	—	7,127
		合 計	36,337	36,506	36,939	37,451	51,870
	女性特定疾病入院	生命共済	4,555	4,613	4,712	4,725	—
		合 計	4,555	4,613	4,712	4,725	—
	がん入院	定期生命共済	9,612	9,916	10,248	10,445	10,527
		合 計	9,612	9,916	10,248	10,445	10,527
障害保障	重度障害	生命共済	2,629,440	2,598,438	2,591,616	2,550,436	3,490,385
		こども共済	3,224,162	3,195,661	3,186,257	3,295,113	3,533,783
		定期生命共済	6,348,799	6,523,554	6,756,119	6,878,420	6,910,637
		終身共済	219,118	249,267	288,032	325,953	358,107
		学生総合共済	—	—	—	—	4,231,159
		合 計	12,421,519	12,566,921	12,822,024	13,049,923	18,524,072
	後遺障害	学生総合共済	—	—	—	—	43,404
		合 計	—	—	—	—	43,404
	災害重度障害	生命共済	2,878,561	2,898,721	2,946,350	2,933,588	3,486,062
		こども共済	1,728,141	1,718,060	1,718,274	1,783,169	1,917,363
		合 計	4,606,702	4,616,781	4,664,624	4,716,758	5,403,426
	災害後遺障害	生命共済	2,936,117	2,951,629	2,995,663	2,979,484	3,523,590
		こども共済	10,074,957	10,012,950	9,990,601	10,243,373	10,866,723
		学生総合共済	—	—	—	—	4,231,159
		合 計	13,011,075	12,964,579	12,986,265	13,222,857	18,621,473
手術保障	手 術	生命共済	235,768	237,303	240,955	239,800	245,378
		こども共済	538,143	534,713	533,159	546,841	579,824
		定期生命共済	85,914	86,038	87,492	87,350	85,938
		終身共済	80,589	89,177	99,226	108,560	117,307
		学生総合共済	—	—	—	—	35,629
		合 計	940,415	947,233	960,834	982,553	1,064,077
	がん手術	定期生命共済	384,494	396,641	409,923	417,833	421,106
		合 計	384,494	396,641	409,923	417,833	421,106

- 注1. 死亡および重度障害は、各共済事業における死亡・重度障害共済金額の引受額の合計です。
 2. 災害死亡および災害重度障害は、各共済事業における災害死亡・災害重度障害共済金額の引受額の合計です。
 3. 入院保障は、各共済事業における入院に関する共済金額の引受額の合計です。
 4. 手術は、各共済事業における手術共済金額の引受額の合計に1回の手術における最高支払倍率を乗じた金額の合計です。
 5. 生存保障の取り扱いはありません。
 6. 学生総合共済には短期生命共済を含みます。

7 受入共済掛金

(単位：百万円/百万円未満切り捨て、%)

共済事業の種類	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	前年度差		前年度比
						前年度差	前年度比	
生命共済・住宅災害共済	73,207	73,222	74,165	74,567	73,386	△ 1,181		98.4
こども共済	33,816	33,576	33,657	34,005	36,058	2,053		106.0
定期生命共済	61,736	63,697	66,227	68,162	69,321	1,159		101.7
終身共済	22,271	24,391	26,900	29,537	31,980	2,443		108.3
学生総合共済	—	—	—	—	981	981		—
合 計	191,032	194,888	200,950	206,273	211,729	5,456		102.6

注1. 学生総合共済には短期生命共済、短期火災共済を含みます。

8 受入共済金・支払共済掛金・支払返戻金

(単位：百万円/百万円未満切り捨て、%)

共済事業の種類	受入共済金				支払共済掛金				支払返戻金			
	2020年度	2021年度	2022年度	前年度比	2020年度	2021年度	2022年度	前年度比	2020年度	2021年度	2022年度	前年度比
生命共済・住宅災害共済	371	281	382	135.9	499	569	587	103.2	—	—	—	—
こども共済	1	2	0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—
定期生命共済	166	262	390	148.9	454	479	498	104.0	1,328	1,405	1,403	99.9
終身共済	45	48	72	150.0	77	88	99	112.5	878	1,121	1,337	119.3
学生総合共済	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	22	—
合 計	583	595	846	142.2	1,031	1,137	1,185	104.2	2,206	2,527	2,762	109.3

9 共済金支払件数

(単位：件、%)

共済事業の 種類	共済金の種類	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	前年度差		前年度比
							前年度差	前年度比	
生命共済・ 住宅災害共済	死亡・重度障害等	6,432	6,025	6,126	5,777	5,752	△ 25	99.6	
	疾病・災害入院	201,626	203,154	196,320	235,038	653,415	418,377	278.0	
	災害通院	134,925	135,308	134,014	132,236	137,256	5,020	103.8	
	手術	140,975	145,934	146,360	149,121	160,718	11,597	107.8	
	女性特定疾病入院	48,578	50,762	51,437	53,205	33,734	△19,471	63.4	
	家族死亡(重度障害)	9,266	8,585	8,466	8,162	12,112	3,950	148.4	
	住宅災害	17,372	18,350	7,505	4,298	6,255	1,957	145.5	
	先進医療	793	1,636	1,421	48	548	500	1141.7	
	小 計	559,967	569,754	551,649	587,885	1,009,790	421,905	171.8	
こども共済	死亡・重度障害等	701	655	687	672	743	71	110.6	
	疾病・災害入院	115,184	118,957	93,339	144,407	801,994	657,587	555.4	
	災害通院	397,006	390,688	350,170	377,560	402,638	25,078	106.6	
	手術	38,656	39,569	37,488	37,346	40,414	3,068	108.2	
	親死亡(重度障害)	3,003	2,750	2,948	2,749	3,132	383	113.9	
	扶養者事故死亡(重度障害)	160	151	138	164	161	△ 3	98.2	
	先進医療	0	2	2	0	0	0	—	
	小 計	554,710	552,772	484,772	562,898	1,249,082	686,184	221.9	
定期生命共済	死亡・重度障害等	8,420	8,800	9,181	9,785	10,627	842	108.6	
	疾病・災害入院	130,922	137,922	135,347	146,045	242,606	96,561	166.1	
	手術	20,633	24,132	27,181	30,168	32,921	2,753	109.1	
	がん	19,016	20,025	20,690	21,301	22,213	912	104.3	
	小 計	178,991	190,879	192,399	207,299	308,367	101,068	148.8	
終身共済	死亡・重度障害・リビングニーズ	173	219	242	274	327	53	119.3	
	疾病・災害入院	34,910	39,338	39,463	50,406	146,769	96,363	291.2	
	手術	25,344	28,970	30,312	33,020	37,514	4,494	113.6	
	小 計	60,427	68,527	70,017	83,700	184,610	100,910	220.6	
学生総合共済	死亡・重度障害等	—	—	—	—	166	166	—	
	病気入院・事故入院	—	—	—	—	96,289	96,289	—	
	事故通院	—	—	—	—	19,588	19,588	—	
	手術	—	—	—	—	6,976	6,976	—	
	親死亡・重度障害	—	—	—	—	922	922	—	
	扶養者事故死亡	—	—	—	—	27	27	—	
	学業復帰支援臨時費用	—	—	—	—	2	2	—	
	こころの早期対応保障	—	—	—	—	2,590	2,590	—	
	火災共済	—	—	—	—	19	19	—	
	小 計	—	—	—	—	126,579	126,579	—	
合 計		1,354,095	1,381,932	1,298,837	1,441,782	2,878,428	1,436,646	199.6	

注1. 生命共済・住宅災害共済の共済金支払件数には、CO・OP生命共済《あいあい》のコープ共済連元受部分を含みます。

2. 学生総合共済には短期生命共済、短期火災共済を含みます。

10 支払共済金額

(単位：百万円/百万円未満切り捨て、%)

共済事業の 種類	共済金の種類	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度		
							前年度差	前年度比
生命共済・ 住宅災害共済	死亡・重度障害等	4,351	3,981	4,128	3,762	4,524	762	120.3
	疾病・災害入院	12,204	12,185	11,577	12,982	34,330	21,348	264.4
	災害通院	3,330	3,275	3,033	3,028	3,078	50	101.7
	手術	4,893	5,044	4,987	5,036	5,277	241	104.8
	女性特定疾病入院	1,414	1,458	1,407	1,447	930	△ 517	64.3
	家族死亡(重度障害)	232	212	207	192	258	66	134.4
	住宅災害	796	820	352	188	257	69	136.7
	先進医療	214	484	424	33	31	△ 2	93.9
	小 計	27,438	27,462	26,118	26,672	48,690	22,018	182.6
こども共済	死亡・重度障害等	644	613	687	689	809	120	117.4
	疾病・災害入院	5,705	5,827	5,014	7,795	48,093	40,298	617.0
	災害通院	6,149	6,174	5,521	5,863	5,979	116	102.0
	手術	2,315	2,356	2,264	2,264	2,475	211	109.3
	親死亡(重度障害)	149	130	148	130	149	19	114.6
	扶養者事故死亡(重度障害)	226	216	258	230	211	△ 19	91.7
	先進医療	0	0	0	0	0	0	—
	小 計	15,190	15,319	13,895	16,972	57,719	40,747	340.1
定期生命共済	死亡・重度障害等	8,245	8,376	9,388	9,247	10,136	889	109.6
	疾病・災害入院	7,077	7,469	7,335	7,867	12,100	4,233	153.8
	手術	1,545	1,615	1,725	1,828	1,926	98	105.4
	がん	4,382	4,728	4,893	5,027	5,284	257	105.1
	小 計	21,250	22,189	23,343	23,970	29,449	5,458	122.8
終身共済	死亡・重度障害・リビングニース	274	324	369	379	456	77	120.3
	疾病・災害入院	1,667	1,876	1,913	2,447	7,001	4,554	286.1
	手術	1,529	1,761	1,837	2,018	2,277	259	112.8
	小 計	3,472	3,963	4,121	4,845	9,735	4,890	200.9
学生総合共済	死亡・重度障害等	—	—	—	—	127	127	—
	疾病・災害入院	—	—	—	—	6,067	6,067	—
	災害通院	—	—	—	—	368	368	—
	手術	—	—	—	—	270	270	—
	親死亡・重度障害	—	—	—	—	294	294	—
	扶養者事故死亡	—	—	—	—	111	111	—
	学業復帰支援臨時費用	—	—	—	—	2	2	—
	こころの早期対応保障	—	—	—	—	17	17	—
	火災共済	—	—	—	—	4	4	—
	小 計	—	—	—	—	7,265	7,265	—
合 計		67,352	68,934	67,479	72,460	152,859	80,399	211.0

注1. 生命共済・住宅災害共済の支払共済金額には、CO・OP生命共済《あいあい》のコープ共済連元受部分を含みます。

2. 学生総合共済には短期生命共済、短期火災共済を含みます。

11 新契約平均共済金額

(単位：円)

共済事業の種類	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
生命共済	729,850	743,942	750,236	729,527	999,619
こども共済	1,176,809	1,177,049	1,197,396	1,209,080	1,243,149
定期生命共済	4,617,333	4,774,566	4,957,033	4,922,053	4,966,955
終身共済 (生命)	2,861,966	2,834,294	2,833,447	2,784,550	2,757,493
学生総合共済	—	—	—	—	995,952

注1. 平均共済金額は、各共済事業における死亡・重度障害共済金額の引受額の平均額です。

12 保有契約平均共済金額

(単位：円)

共済事業の種類	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
生命共済	824,971	809,926	795,667	787,817	1,101,191
こども共済	1,181,331	1,177,668	1,177,249	1,191,734	1,209,940
定期生命共済	3,340,312	3,324,915	3,331,654	3,330,631	3,323,885
終身共済 (生命)	2,430,135	2,444,297	2,463,265	2,472,450	2,478,884
学生総合共済	—	—	—	—	1,008,444

注1. 平均共済金額は、各共済事業における死亡・重度障害共済金額の引受額の平均額です。

2. 学生総合共済には短期生命共済を含みます。

13 解約失効率

(単位：%)

共済事業の種類	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
生命共済・住宅災害共済	4.1	4.1	3.6	4.0	4.0
こども共済	3.5	3.4	2.8	3.2	3.5
定期生命共済	4.0	3.8	3.2	3.5	3.4
終身共済	4.8	4.6	3.7	4.2	4.1
学生総合共済	—	—	—	—	0.7
合 計	3.9	3.9	3.3	3.7	3.5

注1. 解約失効率=期中解約・失効件数÷平均加入者数 (年間の加入者数合計÷12か月)

14 月払契約の新契約平均共済掛金

(単位：円)

共済事業の種類	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
生命共済・住宅災害共済	1,927	1,938	1,929	1,900	1,975
こども共済	1,086	1,089	1,093	1,099	1,107
定期生命共済	2,018	2,019	1,982	1,914	1,984
終身共済 (生命)	5,587	5,558	5,486	5,321	5,328
終身共済 (医療)	2,553	2,574	2,572	2,538	2,527
学生総合共済	—	—	—	—	1,253

注1. 新契約平均共済掛金は、各年度 (3月21日～翌年3月20日) に新規加入 (更改加入および継続加入を除く) した共済契約を算出対象としています。

15 契約者割戻しの状況

契約者割戻しについては、各共済事業規約にもとづき、決算に際し共済事業別に割戻しの原資となる「契約者割戻準備金繰入額」を決定した後、利源分析の結果を考慮して「契約者割戻準備金繰入額」の利源別の内訳を決定しています。

ただし、2022年度は、新型コロナウイルス感染症の「みなし入院」(自宅療養・宿泊療養) に対して約810億円の共済金をお支払いし、組織全体で経常損失が生じたことから、2022年度決算にもとづく割戻は実施しません。

1 共済事業別の契約者割戻準備金繰入額

(単位：千円/千円未満切り捨て、%)

共済事業の種類	契約者割戻準備金繰入額
生命共済・住宅災害共済	0
生命共済	0
住宅災害共済	0
こども共済	0
定期生命共済	506,543
終身共済	4,504
学生総合共済	0

注1. 2022年度決算にもとづく割戻金割当単価は0ですが、定期生命共済事業および終身共済事業について、割戻金割当規則にもとづき2021年度の割戻金割当単価を適用する2023年3月21日から2023年6月までに解約や満期等で終了する契約分の割戻準備金繰入額を計上しています。

2 契約者割戻準備金繰入額の利源別内訳

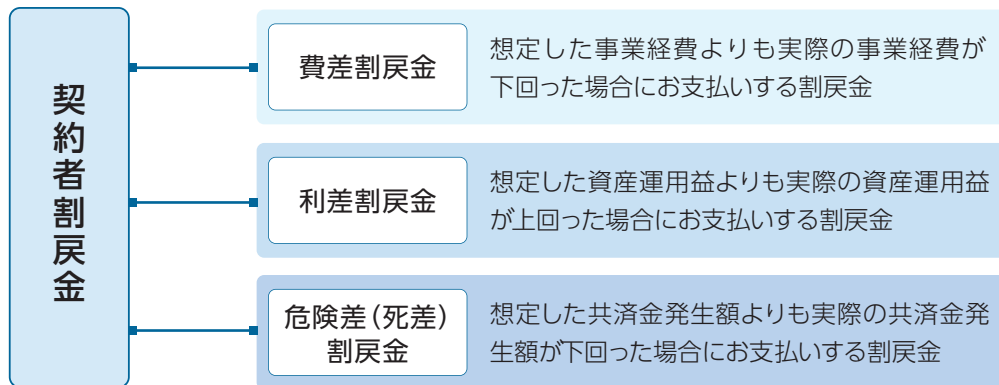
2022年度決算においては割戻しを実施しないため、割戻準備金繰入額の利源別内訳はありません。

なお、定期生命共済事業、終身共済事業においては、1に記載の通り、前年度単価で割り当てる繰上計算分のみ割戻準備金繰入額を計上しているため、当年度の利源別損益にもとづく繰入額はありせん。

(単位：千円/千円未満切り捨て)

共済事業の種類	契約者割戻準備金繰入額	内訳		
		費差割戻金	利差割戻金	危険差割戻金
生命共済	0	—	—	—
住宅災害共済	0	—	—	—
こども共済	0	—	—	—
定期生命共済	506,543	—	—	—
終身共済	4,504	—	—	—
終身生命	184	—	—	—
終身医療	4,319	—	—	—
学生総合共済	0	—	—	—

(参考)



3 各コース・各契約への割当

ア) 生命共済・住宅災害共済・こども共済

契約者割戻準備金は、基本契約(死亡・重度障害の保障部分)および特約(入院、通院等の保障部分)ごとの支払率等にもとづき、コースごとに割り当てます。

2022年度決算においては割戻しを実施しないため、各コース・各契約への割り当てはありません。

生命共済・住宅災害共済

(単位: %)

コース	割戻率	コース	割戻率	コース	割戻率	コース	割戻率
告知緩やか 1000円コース	20歳未満/0.0 20歳以上/0.0	2000円コース	女性/0.0 男性/0.0	3000円コース	女性/0.0 男性/0.0	4000円コース	女性/0.0 男性/0.0
L2000	—	L3000	—	L4000	—	V1000	20歳未満/— 20歳以上/—
V2000	—	R3000	—	R4000	—	300	0.0
400	0.0	700	0.0	1000	0.0	1700	0.0
2700	0.0	3900	0.0	C1000	0.0	C1600	0.0
V4000	0.0	W1000	0.0	W2000	0.0	S1200	0.0
S3000	0.0	先進医療	0.0				

注1. 上記割戻率は、生命共済事業と住宅災害共済事業を合算した率です。

2. 「告知緩やか1000円コース」は発効日時点の年齢が20歳未満か20歳以上かによって付帯する特約が異なるため、割戻率も20歳未満と20歳以上で分割して設定します。

3. 生命共済事業の先進医療特約にはプラチナ85に付帯する先進医療特約も含まれます。

こども共済

(単位: %)

コース	割戻率	コース	割戻率	コース	割戻率	コース	割戻率	コース	割戻率
J1000	0.0	J1600	0.0	J1900	0.0	J2000	0.0	先進医療	0.0

イ) 定期生命共済

共済契約ごとの契約者割戻金の額は、加入コース、年齢、性別等によって異なり、原則として満期まで積み立ててお支払いします。

2022年度決算にもとづく定期生命共済事業（CO・OP共済《あいづらす》）の共済契約ごとの契約者割戻金の概要は次のとおりです。

2021年度決算にもとづく契約者割戻しの状況

共済契約ごとの契約者割戻金は次の（１）～（３）の合計額です。合計額がマイナスの場合はゼロとしています。

（１）費差割戻金（年額）

→ 共済金額に費差割戻率を乗じた額

例：発効時年齢30歳、月払、共済期間10年

※ 発効時年齢とは発効日時点の満年齢をいいます。

● 基本契約（生命保障300万円）

発効時期	女性	男性
2006年9月1日～2013年9月1日	39円	45円
2013年9月2日以降	△243円	△243円

● 入院特約合計（日額5,000円）

発効時期	女性	男性
2006年9月1日～2013年9月1日	87円	89円
2013年9月2日以降	△218円	△171円

● がん特約（がん治療共済金100万円*）

発効時期	女性	男性
2006年9月1日～2013年9月1日	21円	11円
2013年9月2日以降	△143円	△76円

* 発効時期が「2006年9月1日～2013年9月1日」は、がん診断共済金100万円付がん特約の割戻金額です。

（２）利差割戻金（年額）

→ 共済掛金積立金に利差割戻率を乗じた額

【利差割戻率】

予定利率0.6%の契約（発効時期が2013年9月2日以降の契約）：
0.21%

予定利率1.75%の契約（発効時期が2013年9月1日以前の契約）：
△0.94%

2022年度決算にもとづく契約者割戻しの状況

共済契約ごとの契約者割戻金は次の（１）～（３）の合計額です。合計額がマイナスの場合はゼロとしています。

（１）費差割戻金（年額）

→ 共済金額に費差割戻率を乗じた額

例：発効時年齢30歳、月払、共済期間10年

※ 発効時年齢とは発効日時点の満年齢をいいます。

● 基本契約（生命保障300万円）

発効時期	女性	男性
2006年9月1日～2013年9月1日	0円	0円
2013年9月2日以降	0円	0円

● 入院特約合計（日額5,000円）

発効時期	女性	男性
2006年9月1日～2013年9月1日	0円	0円
2013年9月2日以降	0円	0円

● がん特約（がん治療共済金100万円*）

発効時期	女性	男性
2006年9月1日～2013年9月1日	0円	0円
2013年9月2日以降	0円	0円

* 発効時期が「2006年9月1日～2013年9月1日」は、がん診断共済金100万円付がん特約の割戻金額です。

（２）利差割戻金（年額）

→ 共済掛金積立金に利差割戻率を乗じた額

【利差割戻率】

予定利率0.6%の契約（発効時期が2013年9月2日以降の契約）：
0.00%

予定利率1.75%の契約（発効時期が2013年9月1日以前の契約）：
0.00%

(3) 危険差割戻金 (年額)

→ 共済金額に危険差割戻率を乗じた額

例：発効時年齢30歳、経過年数0年、共済期間10年

※ 発効時年齢とは発効日時点の満年齢をいいます。

※ 経過年数とは、発効日から2022年3月20日までの経過年数をいい、年未満は切捨てとします。

● 基本契約 (生命保障300万円)

発効時期	女性	男性
2006年9月1日～2013年9月1日	360円	990円
2013年9月2日以降	780円	810円

● 入院特約合計 (入院日額5,000円)

発効時期	女性	男性
2006年9月1日～2013年9月1日	△75円	6,595円
2013年9月2日以降	△1,655円	825円

● がん特約 (がん治療共済金100万円*)

発効時期	女性	男性
2006年9月1日～2013年9月1日	280円	460円
2013年9月2日以降	1,040円	450円

* 発効時期が「2006年9月1日～2013年9月1日」は、がん診断共済金100万円付がん特約の割戻金額です。

2021年度決算にもとづく契約者割戻金 (年額) の例

例1：月払、共済期間10年、 入院 (日額5,000円) 付生命300万円コース

発効時年齢	発効時期	女性	男性
30歳	2006年9月1日～2013年9月1日	250円 (1.2%)	7,905円 (33.4%)
	2013年9月2日以降	0円 (0.0%)	1,251円 (7.9%)
40歳	2006年9月1日～2013年9月1日	2,851円 (11.0%)	9,877円 (29.4%)
	2013年9月2日以降	272円 (1.2%)	2,582円 (9.7%)

※ 経過年数を1年としています。

※ 括弧内の割合は割戻金の年換算共済掛金に対する割合です。

(3) 危険差割戻金 (年額)

→ 共済金額に危険差割戻率を乗じた額

例：発効時年齢30歳、経過年数0年、共済期間10年

※ 発効時年齢とは発効日時点の満年齢をいいます。

※ 経過年数とは、発効日から2023年3月20日までの経過年数をいい、年未満は切捨てとします。

● 基本契約 (生命保障300万円)

発効時期	女性	男性
2006年9月1日～2013年9月1日	0円	0円
2013年9月2日以降	0円	0円

● 入院特約合計 (入院日額5,000円)

発効時期	女性	男性
2006年9月1日～2013年9月1日	0円	0円
2013年9月2日以降	0円	0円

● がん特約 (がん治療共済金100万円*)

発効時期	女性	男性
2006年9月1日～2013年9月1日	0円	0円
2013年9月2日以降	0円	0円

* 発効時期が「2006年9月1日～2013年9月1日」は、がん診断共済金100万円付がん特約の割戻金額です。

2022年度決算にもとづく契約者割戻金 (年額) の例

例1：月払、共済期間10年、 入院 (日額5,000円) 付生命300万円コース

発効時年齢	発効時期	女性	男性
30歳	2006年9月1日～2013年9月1日	0円 (0.0%)	0円 (0.0%)
	2013年9月2日以降	0円 (0.0%)	0円 (0.0%)
40歳	2006年9月1日～2013年9月1日	0円 (0.0%)	0円 (0.0%)
	2013年9月2日以降	0円 (0.0%)	0円 (0.0%)

※ 経過年数を1年としています。

※ 括弧内の割合は割戻金の年換算共済掛金に対する割合です。

**例2：月払、共済期間10年、
入院（日額5,000円）付生命300万円コース
（がん治療共済金100万円付がん特約付帯*）**

発効時年齢	発効時期	女性	男性
30歳	2006年9月1日～ 2013年9月1日	520円 (1.9%)	8,388円 (31.2%)
	2013年9月2日以降	0円 (0.0%)	1,645円 (8.4%)
40歳	2006年9月1日～ 2013年9月1日	3,722円 (9.4%)	11,961円 (27.6%)
	2013年9月2日以降	3,820円 (8.8%)	4,101円 (11.3%)

※ 経過年数を1年としています。

※ 括弧内の割合は割戻金の年換算共済掛金に対する割合です。

* 発効時期が「2006年9月1日～2013年9月1日」は、がん診断共済金100万円付がん特約付帯の割戻金額です。

ウ) 終身共済

共済契約ごとの契約者割戻金の額は、加入コース、年齢、性別等によって異なり、原則として契約終了まで積み立ててお支払いします。

2022年度決算にもとづく終身共済事業（《ずっとあい》終身生命・終身医療）の共済契約ごとの契約者割戻金の概要は次のとおりです。

2021年度決算にもとづく契約者割戻しの状況

共済契約ごとの契約者割戻金は次の(1)～(3)の合計額です。合計額がマイナスの場合はゼロとしています。

(1) 費差割戻金（年額）

➡ 共済金額に費差割戻率を乗じた額

例：発効時年齢30歳、月払、70歳払込満了

※ 発効時年齢とは発効日時点の満年齢をいいます。

	女性	男性
終身生命（300万円コース）	△ 210円	△ 240円
終身医療（入院日額5,000円コース）	185円	190円

(2) 利差割戻金（年額）

➡ 共済掛金積立金に利差割戻率を乗じた額

【利差割戻率】

	一時払	一時払以外
終身生命	△ 0.04%	△ 0.14%
終身医療	—	△ 0.19%

※ 終身医療には一時払はありません。

**例2：月払、共済期間10年、
入院（日額5,000円）付生命300万円コース
（がん治療共済金100万円付がん特約付帯*）**

発効時年齢	発効時期	女性	男性
30歳	2006年9月1日～ 2013年9月1日	0円 (0.0%)	0円 (0.0%)
	2013年9月2日以降	0円 (0.0%)	0円 (0.0%)
40歳	2006年9月1日～ 2013年9月1日	0円 (0.0%)	0円 (0.0%)
	2013年9月2日以降	0円 (0.0%)	0円 (0.0%)

※ 経過年数を1年としています。

※ 括弧内の割合は割戻金の年換算共済掛金に対する割合です。

* 発効時期が「2006年9月1日～2013年9月1日」は、がん診断共済金100万円付がん特約付帯の割戻金額です。

2022年度決算にもとづく契約者割戻しの状況

共済契約ごとの契約者割戻金は次の(1)～(3)の合計額です。合計額がマイナスの場合はゼロとしています。

(1) 費差割戻金（年額）

➡ 共済金額に費差割戻率を乗じた額

例：発効時年齢30歳、月払、70歳払込満了

※ 発効時年齢とは発効日時点の満年齢をいいます。

・終身生命（300万円コース）

発効時期	女性	男性
2011年9月2日～2022年9月1日	0円	0円
2022年9月2日以降	0円	0円

・終身医療（入院日額5,000円コース）

発効時期	女性	男性
2011年9月2日～2022年9月1日	0円	0円
2022年9月2日以降	0円	0円

(2) 利差割戻金（年額）

➡ 共済掛金積立金に利差割戻率を乗じた額

【利差割戻率】

・終身生命

発効時期	一時払	一時払以外
2011年9月2日～2022年9月1日	0.00%	0.00%
2022年9月2日以降	—	0.00%

※ 一時払は2017年9月1日発効をもって募集を停止しています。

・終身医療

発効時期	一時払	一時払以外
2011年9月2日～2022年9月1日	—	0.00%
2022年9月2日以降	—	0.00%

※ 終身医療には一時払はありません。

(3) 危険差割戻金 (年額)

→ 共済金額に危険差割戻率を乗じた額

例：発効時年齢30歳、経過年数0年、70歳払込満了

※ 発効時年齢とは発効日時点の満年齢をいいます。

※ 経過年数とは、発効日から2022年3月20日までの経過年数をいい、年未満は切捨てとします。

	女性	男性
終身生命 (300万円コース)	240円	600円
終身医療 (入院日額5,000円コース)	160円	240円

2021年度決算にもとづく契約者割戻金 (年額) の例

例1：月払、70歳払込満了、終身生命300万円コース

発効時年齢	女性	男性
30歳	0円 (0.0%)	322円 (0.5%)
40歳	40円 (0.1%)	485円 (0.5%)

※経過年数を1年としています。

※括弧内の割合は割戻金の年換算共済掛金に対する割合です。

例2：月払、70歳払込満了、終身医療 日額5,000円コース

発効時年齢	女性	男性
30歳	322円 (0.9%)	410円 (1.1%)
40歳	269円 (0.6%)	943円 (1.8%)

※経過年数を1年としています。

※括弧内の割合は割戻金の年換算共済掛金に対する割合です。

(3) 危険差割戻金 (年額)

→ 共済金額に危険差割戻率を乗じた額

例：発効時年齢30歳、経過年数0年、70歳払込満了

※ 発効時年齢とは発効日時点の満年齢をいいます。

※ 経過年数とは、発効日から2023年3月20日までの経過年数をいい、年未満は切捨てとします。

・終身生命 (300万円コース)

発効時期	女性	男性
2011年9月2日～2022年9月1日	0円	0円
2022年9月2日以降	0円	0円

・終身医療 (入院日額5,000円コース)

発効時期	女性	男性
2011年9月2日～2022年9月1日	0円	0円
2022年9月2日以降	0円	0円

2022年度決算にもとづく契約者割戻金 (年額) の例

例1：月払、70歳払込満了、終身生命300万円コース

発効時年齢	発効時期	女性	男性
30歳	2011年9月2日～2022年9月1日	0円 (0.0%)	0円 (0.0%)
	2022年9月2日以降	0円 (0.0%)	0円 (0.0%)
40歳	2011年9月2日～2022年9月1日	0円 (0.0%)	0円 (0.0%)
	2022年9月2日以降	0円 (0.0%)	0円 (0.0%)

※経過年数を1年としています。

※括弧内の割合は割戻金の年換算共済掛金に対する割合です。

例2：月払、70歳払込満了、終身医療 日額5,000円コース

発効時年齢	発効時期	女性	男性
30歳	2011年9月2日～2022年9月1日	0円 (0.0%)	0円 (0.0%)
	2022年9月2日以降	0円 (0.0%)	0円 (0.0%)
40歳	2011年9月2日～2022年9月1日	0円 (0.0%)	0円 (0.0%)
	2022年9月2日以降	0円 (0.0%)	0円 (0.0%)

※経過年数を1年としています。

※括弧内の割合は割戻金の年換算共済掛金に対する割合です。

16 再共済 (再保険) 実施状況

◆ 再共済 (再保険) を引き受けた主要な保険会社等

(単位：社)

項 目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
再共済、再保険を 引き受けた会社等	2	2	2	2	2

注1. 消費生活協同組合法施行規則第180条にもとづいて共済掛金積立金を積み立てないとした第三分野共済については該当がありません。

◆ 支払再共済掛金 (再保険料) の上位を占める5社の割合

(単位：%)

項 目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
支払再共済掛金 (再保険料) の上位を占める5社の割合	100	100	100	100	100

注1. 消費生活協同組合法施行規則第180条にもとづいて共済掛金積立金を積み立てないとした第三分野共済については該当がありません。

◆ 格付区分ごとの支払再共済掛金(再保険料)の割合

(単位: %)

項 目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
A以上	73	76	71	68	67
BBB以上	—	—	—	—	—
その他(格付けなし)	27	24	29	32	33

注1. 消費生活協同組合法施行規則第180条にもとづいて共済掛金積立金を積み立てないとした第三分野共済については該当がありません。

◆ 未収再共済(再保険)金

(単位: 千円/千円未満切り捨て)

項 目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
未収再共済金 未収再保険金	199,359	265,572	151,613	145,515	255,237

注1. 消費生活協同組合法施行規則第180条にもとづいて共済掛金積立金を積み立てないとした第三分野共済については該当がありません。

17 第三分野共済の共済契約に係る給付事由又は共済事業の種類ごとの発生共済金額の経過共済掛金に対する割合

(単位: %)

区 分	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
第三分野 計	42.2	43.1	39.9	47.3	93.4
医療	42.3	43.8	39.9	38.9	40.8
がん	45.8	45.9	42.3	42.1	40.6
介護	—	—	—	—	—
その他	41.0	40.2	39.2	72.1	250.4

※ 第三分野に該当する保障内容(入院、手術、災害通院、災害死亡等)を対象としています。「医療」は疾病に関する保障(疾病と災害がセットになっている保障を含みます)、「がん」は定期生命共済のがん特約、「その他」は災害に関する保障が該当します。

※ 発生共済金額は「支払共済金」「対応する支払備金繰入額」および「共済金支払いに係る事業経費」の合計額、経過共済掛金は受入共済掛金のうち、当該事業年度の経過期間に相当する金額です。

※ 2022年度の「その他」の数値の上昇は、新型コロナウイルス感染症による支払共済金が増加した影響によるものです。

18 契約年度別責任準備金残高および予定利率

(単位: 百万円/百万円未満切り捨て、%)

契約年度	責任準備金残高					予定利率
	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	
～ 1980年度	—	—	—	—	—	—
1981年度～ 1985年度	—	—	—	—	—	—
1986年度～ 1990年度	—	—	—	—	—	—
1991年度～ 1995年度	—	—	—	—	—	—
1996年度～ 2000年度	0	0	0	0	0	1.75
2001年度～ 2005年度	657	188	7	7	7	1.75
2006年度	1,021	676	247	3	3	1.75
2007年度	1,506	1,186	783	281	2	1.75
2008年度	2,138	1,835	1,453	960	351	1.75
2009年度	2,909	2,346	2,013	1,582	1,040	1.75
2010年度	3,162	2,421	1,878	1,606	1,259	1.75
2011年度	11,608	11,880	11,917	12,080	12,524	1.40～ 1.75
2012年度	18,512	19,824	20,907	21,637	22,402	1.40～ 1.75
2013年度	15,751	17,278	18,544	19,448	20,032	0.60～ 1.75
2014年度	13,075	14,746	16,200	17,334	18,106	0.60～ 1.50
2015年度	11,520	13,676	15,549	17,017	18,156	0.60～ 1.50
2016年度	9,161	11,817	14,073	15,875	17,350	0.60～ 1.50
2017年度	5,936	9,035	11,708	13,905	15,702	0.60～ 1.50
2018年度	1,924	5,403	8,423	10,938	13,015	0.60～ 1.50
2019年度	—	1,988	5,628	8,708	11,300	0.60～ 1.50
2020年度	—	—	2,114	6,001	9,284	0.60～ 1.50
2021年度	—	—	—	2,122	5,896	0.60～ 1.50
2022年度	—	—	—	—	2,109	0.50～ 1.50

注1. 責任準備金残高には、予定利率を有する共済掛金積立金を記載しています。

2. 予定利率については、各契約年度ごとの共済掛金積立金に係る主な予定利率を記載しています。

19 受託共済の状況

◆実施会員数

(単位：会員)

受託共済の種類	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	前年度差
火災共済	127	127	128	129	127	△ 2
《あいあい》《新あいあい》	49	49	48	51	49	△ 2
マイカー共済	—	—	—	114	121	7

注1. 火災共済(火災共済・自然災害共済)、《あいあい》(個人長期生命共済・生命共済・住宅災害共済)、《新あいあい》(個人長期生命共済)

2. マイカー共済は、2021年度から取扱を開始しました。

◆加入者数(契約件数)

(単位：人または件、%)

	受託共済の種類	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	(単位: 円)	
	元受団体						前年度差	前年度比
火災共済	全国労働者共済生活協同組合連合会	402,372	404,505	408,567	412,876	416,311	3,435	100.8
自然災害共済	全国労働者共済生活協同組合連合会	175,275	185,416	196,285	205,990	213,913	7,923	103.8
《あいあい》	全国労働者共済生活協同組合連合会・コープ共済連	—	—	—	—	—	—	—
《新あいあい》	全国労働者共済生活協同組合連合会	24,846	23,949	22,916	21,661	20,290	△ 1,371	93.7
マイカー共済	全国労働者共済生活協同組合連合会	—	—	—	4,092	59,903	55,811	1463.9
合 計		602,493	613,870	627,768	644,619	710,417	65,798	110.2

注1. 自然災害共済は、火災共済に付帯できる制度であり、単独では加入できません。

2. CO・OP生命共済《あいあい》は、全国労働者共済生活協同組合連合会とコープ共済連で共同引受しています。CO・OP生命共済《あいあい》は、募集を停止しました。

◆共済掛金*

(単位：百万円／百万円未満切り捨て、%)

受託共済の種類	元受団体	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	前年度差	前年度比
火災共済	全国労働者共済生活協同組合連合会	4,621	4,658	4,739	4,809	4,871	62	101.3
自然災害共済	全国労働者共済生活協同組合連合会	3,548	3,759	4,039	4,254	4,437	183	104.3
《あいあい》	全国労働者共済生活協同組合連合会・コープ共済連	—	—	—	—	—	—	—
《新あいあい》	全国労働者共済生活協同組合連合会	3,954	3,845	3,626	3,386	3,113	△ 273	91.9
マイカー共済	全国労働者共済生活協同組合連合会	—	—	—	109	2,153	2,044	1975.2
合 計		12,124	12,263	12,405	12,560	14,576	2,016	116.1

◆共済金支払件数*

(単位：件、%)

受託共済の種類		2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度		
	元受団体						前年度差	前年度比
火災共済	全国労働者共済生活協同組合連合会	12,508	8,650	5,848	4,748	5,926	1,178	124.8
自然災害共済	全国労働者共済生活協同組合連合会	6,650	4,191	2,747	3,228	4,667	1,439	144.6
《あいあい》	全国労働者共済生活協同組合連合会 ・コープ共済連	6	2	—	2	1	△ 1	50.0
《新あいあい》	全国労働者共済生活協同組合連合会	4,584	4,795	4,452	4,711	5,803	1,092	123.2
マイカー共済	全国労働者共済生活協同組合連合会	—	—	—	2	1,814	1,812	90700.0
合 計		23,748	17,638	13,047	12,691	18,211	5,520	143.5

◆支払共済金額*

(単位：百万円／百万円未満切り捨て、%)

受託共済の種類	元受団体	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	前年度差	前年度比
火災共済	全国労働者共済生活協同組合連合会	2,660	1,952	1,601	1,204	1,508	304	125.2
自然災害共済	全国労働者共済生活協同組合連合会	3,173	1,986	1,313	1,291	1,730	439	134.0
《あいあい》	全国労働者共済生活協同組合連合会・コープ共済連	7	1	—	1	0	△ 1	90.2
《新あいあい》	全国労働者共済生活協同組合連合会	601	641	483	504	642	138	127.3
マイカー共済	全国労働者共済生活協同組合連合会	—	—	—	0	561	561	398702.5
合 計		6,443	4,580	3,397	3,001	4,442	1,441	148.0

* CO・OP生命共済《あいあい》の共済掛金、共済金支払件数および支払共済金額は、全国労働者共済生活協同組合連合会元受部分の金額を表示しています。

2

経理に関する指標

1 責任準備金の積立方式および積立率

(単位：%)

項 目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
積立方式	平準純共済掛金式	平準純共済掛金式	平準純共済掛金式	平準純共済掛金式	平準純共済掛金式
積立率	100	100	100	100	100

注1. 積立率は「(実際に積み立てている共済掛金積立金+未経過共済掛金)÷(平準純共済掛金式による共済掛金積立金+未経過共済掛金)×100%」の値です。

2 契約者割戻準備金明細

(単位：百万円/百万円未満切り捨て)

共済事業の種類	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
生命共済・住宅災害共済	15,563	15,648	15,827	15,920	53
こども共済	5,326	5,316	5,319	1,075	—
定期生命共済	57,593	60,639	63,204	64,807	51,709
終身共済	818	1,264	1,745	2,249	2,145
学生総合共済	—	—	—	—	—
合 計	79,300	82,868	86,095	84,052	53,909

3 引当金明細表

(単位：百万円/百万円未満切り捨て)

項 目		2018年度末 残高	2019年度末 残高	2020年度末 残高	2021年度末 残高	2022年度末 残高	当期増減額
貸倒引当金	一般貸倒引当金	—	—	—	—	—	—
	個別貸倒引当金	—	—	—	—	—	—
小 計		—	—	—	—	—	—
諸引当金	賞与引当金	200	213	214	228	259	31
	退職給付引当金	1,285	1,460	1,658	1,766	2,216	449
	大震災共済金引当金	—	—	—	—	—	—
小 計		1,485	1,674	1,873	1,994	2,476	481
価格変動準備金		4,176	4,811	6,010	6,569	7,182	612
合 計		5,662	6,485	7,883	8,563	9,658	1,093

4 法定準備金および任意積立金明細（剰余金処分前）

（単位：百万円/百万円未満切り捨て）

区 分		当期首残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
2018年度	法定準備金	13,150	2,050	—	15,200
	任意積立金	44,792	10,838	3,549	52,081
	異常災害見舞金積立金	11,334	1,034	51	12,317
	事務システム整備対応積立金	4,412	1,750	3,212	2,949
	加入者貢献積立金	366	253	286	333
	財務基盤強化積立金	28,680	7,800	—	36,480
	合 計	57,942	12,888	3,549	67,281
2019年度	法定準備金	15,200	1,760	—	16,960
	任意積立金	52,081	8,770	1,801	59,050
	異常災害見舞金積立金	12,317	244	7	12,554
	事務システム整備対応積立金	2,949	2,390	1,590	3,749
	加入者貢献積立金	333	286	203	416
	財務基盤強化積立金	36,480	5,850	—	42,330
	合 計	67,281	10,530	1,801	76,010
2020年度	法定準備金	16,960	1,960	—	18,920
	任意積立金	59,050	8,966	1,883	66,133
	異常災害見舞金積立金	12,554	196	4	12,746
	事務システム整備対応積立金	3,749	3,466	1,701	5,514
	加入者貢献積立金	416	203	177	442
	財務基盤強化積立金	42,330	5,100	—	47,430
	合 計	76,010	10,926	1,883	85,053
2021年度	法定準備金	18,920	2,380	—	21,300
	任意積立金	66,133	10,718	2,666	74,186
	異常災害見舞金積立金	12,746	270	30	12,986
	事務システム整備対応積立金	5,514	2,351	2,468	5,397
	加入者貢献積立金	442	177	167	452
	推進強化積立金	—	1,000	—	1,000
	財務基盤強化積立金	47,430	6,920	—	54,350
	合 計	85,053	13,098	2,666	95,486
2022年度	法定準備金	21,300	1,600	—	22,900
	任意積立金	74,186	9,451	21,498	62,138
	異常災害見舞金積立金	12,986	243	73	13,156
	事務システム整備対応積立金	5,397	2,370	3,864	3,902
	加入者貢献積立金	452	167	182	437
	推進強化積立金	1,000	—	157	842
	財務基盤強化積立金	54,350	6,670	17,219	43,800
	合 計	95,486	11,051	21,498	85,038

5 事業経費の明細

(単位：百万円/百万円未満切り捨て、%)

科 目	2018年度		2019年度		2020年度		2021年度		2022年度	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
人件費	6,707	11.8	7,101	12.4	7,408	12.5	7,877	12.5	8,684	12.3
物件費	23,494	41.4	23,510	40.9	24,256	40.9	27,108	43.1	33,160	47.0
共済委託手数料	26,580	46.8	26,850	46.7	27,600	46.6	27,870	44.3	28,647	40.6
合 計	56,783	100.0	57,462	100.0	59,265	100.0	62,856	100.0	70,492	100.0

6 経常剰余金

(単位：百万円/百万円未満切り捨て)

共済事業の種類	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
生命共済・住宅災害共済	22,243	23,318	24,651	21,470	△ 2,573
こども共済	7,102	7,350	7,943	1,198	△ 30,753
定期生命共済	17,034	17,827	19,201	19,732	14,606
終身共済	742	608	957	1,071	△ 2,410
学生総合共済	—	—	—	—	△ 3,582
部門外勘定	608	873	1,065	661	498
その他事業	11	△ 32	53	53	48
合 計	47,743	49,946	53,873	44,188	△ 24,166

7 支払率

(単位：%)

共済事業の種類	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
生命共済・住宅災害共済	36.9	37.0	34.4	38.3	67.1
こども共済	45.5	45.7	39.6	64.0	156.5
定期生命共済	35.4	35.6	35.4	35.7	42.8
終身共済	16.0	16.8	15.3	18.3	29.9
学生総合共済	—	—	—	—	62.0

注1. 支払率＝正味共済金(支払共済金－受入共済金－支払備金戻入額＋支払備金繰入額)÷正味共済掛金(受入共済掛金－支払共済掛金＋未経過共済掛金戻入額－未経過共済掛金繰入額)

8 事業費率

(単位：%)

共済事業の種類	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
生命共済・住宅災害共済	32.6	31.1	32.0	33.8	36.0
こども共済	27.9	28.5	28.4	31.9	29.7
定期生命共済	29.3	29.4	29.0	29.6	30.9
終身共済	23.6	25.4	25.1	22.0	22.4
学生総合共済	—	—	—	—	86.8

注1. 事業費率＝(事業経費－受入受託手数料)÷正味共済掛金

3

資産運用に関する指標

1 主要資産の区分別平均残高および運用利回り

(単位：百万円/百万円未満切り捨て、%)

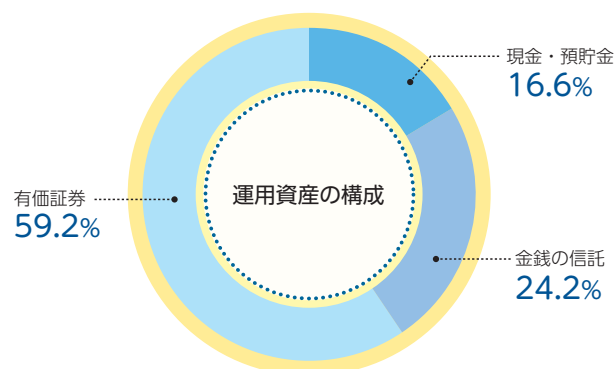
資 産	2018年度		2019年度		2020年度		2021年度		2022年度	
	平均残高	利回り	平均残高	利回り	平均残高	利回り	平均残高	利回り	平均残高	利回り
現金・預貯金	115,982	0.03	136,610	0.03	95,634	0.04	76,717	0.03	64,583	0.04
コールローン	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
買現先勘定	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
債券貸借取引支払保証金	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
金銭債権	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
金銭の信託	54,010	1.18	66,706	1.42	125,733	0.98	140,621	0.64	128,911	0.51
有価証券	194,683	0.56	191,264	0.57	205,811	0.58	242,614	0.55	257,631	0.61
譲渡性預金	36,430	0.02	39,040	0.02	30,526	0.02	31,532	0.01	20,035	0.01
公社債	157,998	0.68	151,968	0.71	175,029	0.68	210,825	0.63	237,340	0.66
株式	255	0.98	255	0.98	255	0.97	255	0.98	255	1.57
その他の証券	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合 計	364,677	0.48	394,581	0.53	427,179	0.57	459,953	0.49	451,125	0.50

2 主要資産の区分別構成および増減

《運用資産の構成》

(単位：百万円/百万円未満切り捨て、%)

資 産	2018年度		2019年度		2020年度		2021年度		2022年度		
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比	増減額
現金・預貯金	132,718	34.3	125,979	30.4	94,806	20.9	81,858	17.0	73,214	16.6	△ 8,644
コールローン	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
買現先勘定	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
債券貸借取引支払保証金	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
金銭債権	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
金銭の信託	55,966	14.5	99,876	24.1	132,956	29.3	143,578	29.9	106,680	24.2	△ 36,897
有価証券	198,482	51.3	189,000	45.6	225,458	49.7	255,488	53.1	260,654	59.2	5,165
譲渡性預金	41,000	10.6	38,000	9.2	28,500	6.3	32,500	6.8	13,500	3.1	△ 19,000
公社債	157,226	40.6	150,744	36.3	196,703	43.4	222,733	46.3	246,899	56.0	24,165
株式	255	0.1	255	0.1	255	0.1	255	0.1	255	0.1	0
その他の証券	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合 計	387,166	100.0	414,856	100.0	453,221	100.0	480,925	100.0	440,549	100.0	△ 40,376



6 有価証券の種類別・残存期間別残高

(単位：百万円/百万円未満切り捨て)

区 分	2018年度							
	1年以下	1年超 3年以下	3年超 5年以下	5年超 7年以下	7年超 10年以下	10年超	期間の ないもの	合計
公社債(自家運用)	15,732	20,219	20,036	21,676	6,664	72,896	—	157,226
国債	5,305	6,882	8,425	7,415	416	59,186	—	87,631
地方債	4,620	6,524	2,148	9,467	4,339	5,174	—	32,274
財投機関債(特殊法人債)	—	1,842	2,849	1,126	1,709	7,633	—	15,161
金融債	2,602	901	1,402	616	—	—	—	5,523
事業債	3,203	4,068	5,211	3,050	198	902	—	16,634
その他	41,000	—	—	—	—	—	255	41,255
譲渡性預金	41,000	—	—	—	—	—	—	41,000
株式	—	—	—	—	—	—	255	255
投資信託	—	—	—	—	—	—	—	—
合 計	56,732	20,219	20,036	21,676	6,664	72,896	255	198,482

(単位：百万円/百万円未満切り捨て)

区 分	2019年度							
	1年以下	1年超 3年以下	3年超 5年以下	5年超 7年以下	7年超 10年以下	10年超	期間の ないもの	合計
公社債(自家運用)	8,126	22,443	23,193	14,613	3,004	79,363	—	150,744
国債	2,608	8,543	11,120	402	414	61,316	—	84,406
地方債	2,408	5,072	5,086	8,883	1,307	6,705	—	29,463
財投機関債(特殊法人債)	804	2,539	2,031	2,101	1,082	10,438	—	18,997
金融債	500	1,801	101	511	—	—	—	2,915
事業債	1,803	4,486	4,854	2,715	200	902	—	14,961
その他	38,000	—	—	—	—	—	255	38,255
譲渡性預金	38,000	—	—	—	—	—	—	38,000
株式	—	—	—	—	—	—	255	255
投資信託	—	—	—	—	—	—	—	—
合 計	46,126	22,443	23,193	14,613	3,004	79,363	255	189,000

(単位：百万円/百万円未満切り捨て)

区 分	2020年度							
	1年以下	1年超 3年以下	3年超 5年以下	5年超 7年以下	7年超 10年以下	10年超	期間の ないもの	合計
公社債(自家運用)	11,688	20,028	24,295	10,267	19,588	110,834	—	196,703
国債	4,213	8,415	7,409	—	4,246	86,922	—	111,206
地方債	4,021	2,125	9,618	4,635	9,704	9,796	—	39,900
財投機関債(特殊法人債)	1,008	2,826	2,415	3,928	5,438	13,213	—	28,831
金融債	399	1,701	611	—	—	—	—	2,713
事業債	2,045	4,959	4,240	1,703	200	902	—	14,050
その他	28,500	—	—	—	—	—	255	28,755
譲渡性預金	28,500	—	—	—	—	—	—	28,500
株式	—	—	—	—	—	—	255	255
投資信託	—	—	—	—	—	—	—	—
合 計	40,188	20,028	24,295	10,267	19,588	110,834	255	225,458

(単位：百万円/百万円未満切り捨て)

区 分	2021年度							
	1年以下	1年超 3年以下	3年超 5年以下	5年超 7年以下	7年超 10年以下	10年超	期間の ないもの	合計
公社債 (自家運用)	10,919	22,910	19,169	12,303	25,808	131,622	—	222,733
国債	4,300	11,115	401	1,462	4,538	104,479	—	126,297
地方債	1,001	5,046	9,451	3,917	16,269	10,945	—	46,631
財投機関債 (特殊法人債)	1,506	2,016	3,499	5,824	4,801	15,296	—	32,943
金融債	1,700	100	1,004	—	—	—	—	2,805
事業債	2,410	4,631	4,811	1,098	200	902	—	14,054
その他	32,500	—	—	—	—	—	255	32,755
譲渡性預金	32,500	—	—	—	—	—	—	32,500
株式	—	—	—	—	—	—	255	255
投資信託	—	—	—	—	—	—	—	—
合 計	43,419	22,910	19,169	12,303	25,808	131,622	255	255,488

(単位：百万円/百万円未満切り捨て)

区 分	2022年度							
	1年以下	1年超 3年以下	3年超 5年以下	5年超 7年以下	7年超 10年以下	10年超	期間の ないもの	合計
公社債 (自家運用)	9,026	24,291	17,006	16,484	27,748	152,342	—	246,899
国債	4,109	7,404	—	2,270	5,923	121,556	—	141,263
地方債	1,104	9,558	6,811	6,847	18,389	12,364	—	55,075
財投機関債 (特殊法人債)	1,303	2,405	4,407	6,572	3,435	17,519	—	35,645
金融債	—	606	498	—	—	—	—	1,104
事業債	2,508	4,316	5,288	794	—	902	—	13,810
その他	13,500	—	—	—	—	—	255	13,755
譲渡性預金	13,500	—	—	—	—	—	—	13,500
株式	—	—	—	—	—	—	255	255
投資信託	—	—	—	—	—	—	—	—
合 計	22,526	24,291	17,006	16,484	27,748	152,342	255	260,654

注1. 区分は「3. [2] 運用資産の構成」における有価証券残高の内訳です。

7 業種別保有株式の額・貸付金関連・海外投資関連

◎業種別保有株式の額

投資目的の株式に該当するものではありません。

◎貸付金関連

《貸付金明細》 (単位：百万円/百万円未満切り捨て)

区 分	2021年度		2022年度	
	金額	構成比	金額	構成比
契約者貸付	—	—	—	—
その他の貸付	—	—	440	100.0
合計	—	—	440	100.0

《使途別の貸付金残高》 (単位：百万円/百万円未満切り捨て)

区 分	2021年度		2022年度	
	金額	構成比	金額	構成比
設備資金	—	—	—	—
運転資金	—	—	440	100.0
合計	—	—	440	100.0

《担保の種類別貸付残高》

担保の種類別貸付残高に該当するものではありません。

◎海外投資関連

《海外投資残高》 (単位：百万円/百万円未満切り捨て、%)

区 分	2018年度		2019年度		2020年度		2021年度		2022年度	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
外貨建資産	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
公社債	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
円貨額が確定した外貨建資産	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
公社債	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
円貨建資産	30,629	100.0	34,369	100.0	43,147	100.0	46,203	100.0	42,844	100.0
公社債	29,613	96.7	32,317	94.0	41,091	95.2	43,881	95.0	40,477	94.5
その他	1,016	3.3	2,051	6.0	2,055	4.8	2,321	5.0	2,367	5.5
合 計	30,629	100.0	34,369	100.0	43,147	100.0	46,203	100.0	42,844	100.0

《海外投資地域別構成》

(単位：百万円/百万円未満切り捨て、%)

区 分	2018年度				2019年度				2020年度			
	公社債		その他		公社債		その他		公社債		その他	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
北米	18,631	62.9	468	46.1	18,652	57.7	988	48.2	26,307	64.0	926	45.1
ヨーロッパ	5,840	19.7	312	30.7	7,827	24.2	613	29.9	9,690	23.6	614	29.9
アジア	1,557	5.3	235	23.2	1,422	4.4	449	21.9	1,099	2.7	513	25.0
中南米	2,105	7.1	0	0.0	2,371	7.3	0	0.0	2,045	5.0	0	0.0
その他	1,477	5.0	0	0.0	2,043	6.3	0	0.0	1,948	4.7	0	0.0
合 計	29,613	100.0	1,016	100.0	32,317	100.0	2,051	100.0	41,091	100.0	2,055	100.0

区 分	2021年度				2022年度			
	公社債		その他		公社債		その他	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
北米	27,951	63.7	1,205	51.9	26,052	64.4	1,196	50.5
ヨーロッパ	10,494	23.9	642	27.7	9,813	24.2	649	27.4
アジア	226	0.5	473	20.4	1,330	3.3	521	22.0
中南米	2,349	5.4	0	0.0	1,639	4.0	0	0.0
その他	2,859	6.5	0	0.0	1,641	4.1	0	0.0
合 計	43,881	100.0	2,321	100.0	40,477	100.0	2,367	100.0

《海外投資運用利回り》

(単位：%)

区 分	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
海外投資運用利回り	1.22	0.79	1.28	0.83	0.36

8 リスク管理債権の状況

「破綻先債権・延滞債権・3か月以上延滞債権・貸付条件緩和債権」に該当するものではありません。

9 債務者区分による債権の状況

(単位：百万円/百万円未満切り捨て)

区 分	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
破産更正債権及びこれらに準ずる債権	—	—	—	—	—
危険債権	—	—	—	—	—
要管理債権	—	—	—	—	—
計	—	—	—	—	—
正常債権	8,075	8,582	9,707	10,018	11,937
合 計	8,075	8,582	9,707	10,018	11,937

- 注1. 「破産更正債権及びこれらに準ずる債権」とは、破産、会社更生、再生手続き等の事由により、経営破綻に陥っている債務者に対する債権およびこれらに準ずる債権です。
2. 「危険債権」とは債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態および経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収および利息の受け取りができない可能性の高い債権です。
3. 「要管理債権」とは3か月以上延滞貸付金および条件緩和貸付金です。なお、3か月以上延滞貸付金とは、元本または利息の支払が、約定支払日の翌日から3か月以上遅延している貸付金（1および2に掲げる債権を除く）であり、条件緩和貸付金とは、債務者の経営再建または支援を図ることを目的として、金利の減免、利息の支払猶予、元本の返済猶予、債権放棄その他の債務者に有利となる取決めを行った貸付金（1および2に掲げる債権ならびに3か月以上延滞貸付金を除く）です。
4. 「正常債権」とは、債権者の財政状態および経営成績に特に問題がないものとして、1から3までに掲げる債権以外のものに区分される債権です。

10 有価証券および金銭の信託の時価情報

(単位：百万円/百万円未満切り捨て)

区 分	2018年度				
	簿価	貸借対照表 計上額		差額	
				うち差益	うち差損
満期保有目的の債券	101,048	101,048	—	—	—
満期保有目的の譲渡性預金	41,000	41,000	—	—	—
その他有価証券	110,919	112,399	1,479	2,083	603
金銭の信託	54,682	55,966	1,283	1,884	601
公社債	55,981	56,177	196	199	2
株式	255	255	—	—	—
その他の証券	—	—	—	—	—
合 計	252,968	254,448	1,479	2,083	603

(単位：百万円/百万円未満切り捨て)

区 分	2019年度				
	簿価	貸借対照表 計上額		差額	
				うち差益	うち差損
満期保有目的の債券	107,471	107,471	—	—	—
満期保有目的の譲渡性預金	38,000	38,000	—	—	—
満期保有目的の金銭の信託	36,000	36,000	—	—	—
その他有価証券	108,415	107,405	△ 1,010	1,910	2,920
金銭の信託	64,942	63,876	△ 1,066	1,814	2,880
公社債	43,217	43,273	55	96	40
株式	255	255	—	—	—
その他の証券	—	—	—	—	—
合 計	289,886	288,876	△ 1,010	1,910	2,920

(単位：百万円/百万円未満切り捨て)

区 分	2020年度				
	簿価	貸借対照表 計上額		差額	
				うち差益	うち差損
満期保有目的の債券	138,831	138,831	—	—	—
満期保有目的の譲渡性預金	28,500	28,500	—	—	—
満期保有目的の金銭の信託	56,000	56,000	—	—	—
その他有価証券	131,858	135,083	3,225	3,503	278
金銭の信託	73,775	76,956	3,180	3,384	203
公社債	57,827	57,871	44	118	74
株式	225	225	—	—	—
その他の証券	—	—	—	—	—
合 計	355,190	358,415	3,225	3,503	278

(単位：百万円/百万円未満切り捨て)

区 分	2021年度				
	簿価	貸借対照表 計上額		差額	
				うち差益	うち差損
満期保有目的の債券	157,279	157,279	—	—	—
満期保有目的の譲渡性預金	32,500	32,500	—	—	—
満期保有目的の金銭の信託	60,000	60,000	—	—	—
その他有価証券	147,593	149,287	1,693	3,194	1,500
金銭の信託	81,711	83,578	1,866	3,108	1,241
公社債	65,626	65,453	△ 173	85	259
株式	255	255	—	—	—
その他の証券	—	—	—	—	—
合 計	397,373	399,067	1,693	3,194	1,500

(単位：百万円/百万円未満切り捨て)

区 分	2022年度				
	簿価	貸借対照表 計上額		差額	
				うち差益	うち差損
満期保有目的の債券	175,191	175,191	—	—	—
満期保有目的の譲渡性預金	13,500	13,500	—	—	—
満期保有目的の金銭の信託	26,000	26,000	—	—	—
その他有価証券	154,573	152,643	△ 1,930	2,988	4,918
金銭の信託	82,131	80,680	△ 1,450	2,923	4,374
公社債	72,186	71,707	△ 479	64	543
株式	255	255	—	—	—
その他の証券	—	—	—	—	—
合 計	369,264	367,334	△ 1,930	2,988	4,918

注1. 区分は保有目的別の有価証券および金銭の信託残高の内訳です。

2. 売買目的有価証券に区分されるものではありません。

3. 金銭の信託は、2021年度まで、その他有価証券として開示していましたが、金銭の信託に含まれる合同運用指定金銭信託は、途中解約の実績が無く、また今後も無い見込であることから、2022年度より、満期保有目的の金銭の信託として開示することとし、合わせて過年度についても、同様の開示としました。

11 デリバティブ取引の時価情報

該当する金額はありません。

4

主要な経営指標

1 支払余力比率

(単位：百万円/百万円未満切り捨て)

項 目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	前年差
支払余力総額 (A)	196,744	208,816	232,197	241,370	213,998	△ 27,372
純資産の部の合計 *	127,816	136,648	147,474	154,475	135,267	△ 19,208
価格変動準備金の額	4,176	4,811	6,010	6,569	7,182	613
異常危険準備金の額	44,913	47,121	51,226	52,072	54,120	2,048
一般貸倒引当金の額	—	—	—	—	—	—
その他有価証券の評価差額の90% (負の場合100%)	1,331	△ 1,010	2,902	1,524	△ 1,930	△ 3,454
土地の含み損益の85% (負の場合100%)	—	—	—	—	—	—
その他前各号に準ずるもの	18,505	21,245	24,584	26,728	19,358	△ 7,370
契約者割戻準備金未割当部分	—	—	—	—	—	—
税効果相当額 (不算入額の控除後)	18,388	21,049	24,318	26,408	18,963	△ 7,445
共済掛金積立金等余剰部分	116	196	265	319	394	75
負債性資本調達手段等	—	—	—	—	—	—
期限付劣後債務の不算入額 (—)	—	—	—	—	—	—
共済掛金積立金等余剰部分及び負債性資本調達手段等の不算入額 (—)	—	—	—	—	—	—
繰延税金資産の不算入額 (—)	—	—	—	—	—	—
リスクの合計額 (B) $(=\sqrt{(R_1+R_6)^2+(R_3+R_4)^2+R_2+R_5})$	28,779	29,474	30,170	30,424	34,681	4,257
一般共済リスク相当額 R_1	26,161	12,387	12,564	12,308	13,807	1,499
巨大災害リスク相当額 R_2	1,171	1,180	1,198	1,151	1,143	△ 8
予定利率リスク相当額 R_3	22	22	23	23	24	1
資産運用リスク相当額 R_4	6,377	7,078	6,954	7,417	7,071	△ 346
経営管理リスク相当額 R_5	674	698	711	723	803	80
第三分野共済の共済契約に係るリスク相当額 R_6	—	14,277	14,820	15,255	18,148	2,893
支払余力比率 (C) $=(A)/\{(B) \times 1/2\} \times 100$	1367.3%	1417.0%	1539.2%	1586.7%	1234.1%	△ 352.6%

* 純資産の部の合計から剰余金の処分支出額およびその他有価証券評価差額金等を控除した金額です。

注1. 上記比率は、通常の予測を超えたリスクに対応できる「支払余力」を有しているかどうかの指標です。消費生活協同組合法施行規則第166条の2、第166条の3および消費生活協同組合法施行規則第4条の2から第4条の5までの規定に定める方法にもとづいて算出しており、上記比率は200%以上必要とされています。

2. 生命保険会社、損害保険会社のソルベンシーマージン比率とは単純に比較はできません。

3. 「消費生活協同組合法施行規則ならびに施行規則」の改正により、2019年度より新たな基準による数値を記載しています(2018年度以前の支払余力比率は法令改正前の基準による数値です)。

2 利源別損益

(単位：百万円/百万円未満切り捨て)

区 分	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	前年差
基礎利益	50,980	51,961	58,363	45,602	△ 21,885	△ 67,487
利差益	271	339	546	214	△ 182	△ 396
危険差益	44,723	45,062	51,491	36,743	△ 27,211	△ 63,954
費差益	5,985	6,560	6,324	8,644	5,508	△ 3,136
キャピタル損益	39	116	62	△ 25	105	130
臨時損益	△ 3,276	△ 2,132	△ 4,552	△ 1,388	△ 2,387	△ 999
うち危険準備金繰入額	△ 3,255	△ 2,207	△ 4,105	△ 846	△ 2,048	△ 1,202
経常剰余金	47,743	49,946	53,873	44,188	△ 24,166	△ 68,354
特別損益	△ 575	△ 656	△ 1,222	△ 643	△ 692	△ 49
法人税等その他	△ 1,814	△ 3,098	△ 4,050	△ 1,698	25,369	27,067
割戻準備金繰入額	△ 34,856	△ 35,401	△ 35,762	△ 32,229	△ 511	31,718
当期末処分剰余金	10,498	10,790	12,838	9,617	—	△ 9,617

- 注1. 利差益＝想定した運用収益（予定利率）と実際の運用収益との差額
 2. 危険差益＝想定した共済金支払額（予定危険率）と実際に発生した共済金支払額との差額
 3. 費差益＝想定した事業費（予定事業費率）と実際の事業費との差額

3 自己資本比率

(単位：百万円/百万円未満切り捨て、%)

区 分	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	前年差
i) 自己資本	142,205	149,431	163,576	169,686	147,031	△ 22,655
ii) 異常危険準備金・価格変動準備金	49,090	51,932	57,236	58,642	61,303	2,661
修正自己資本 i) + ii)	191,296	201,363	220,813	228,328	208,335	△ 19,993
総資産	421,662	452,014	492,945	523,434	492,497	△ 30,937
自己資本比率	33.7	33.1	33.2	32.4	29.9	△ 2.5
修正自己資本比率	45.4	44.5	44.8	43.6	42.3	△ 1.3

- 注1. 自己資本比率＝自己資本÷総資産
 2. 修正自己資本比率＝修正自己資本÷総資産

5

その他の指標

◆業務用固定資産残高

(単位: 百万円/百万円未満切り捨て)

年度	区分	種 類	当期首 帳簿価額	当期 増加額	当期 減少額	当期 償却額	当期末 帳簿価額	減価償却 累計額	期末 取得原価
2018 年度	有形 固定資産	建物付属設備	214	2	—	26	189	203	393
		構築物	1	—	—	0	1	0	1
		器具備品	681	347	7	295	726	917	1,643
		リース資産	247	—	—	117	129	1,092	1,222
		計	1,144	349	7	440	1,046	2,213	3,260
	無形 固定資産	ソフトウェア	4,341	4,535	0	1,743	7,132		
		ソフトウェア仮勘定	1,554	1,663	2,894	—	322		
		のれん	1,903	—	—	1,903	—		
		電信電話専用施設利用権	16	—	—	1	15		
		商標権	2	—	—	0	1		
		著作権	2	—	—	—	2		
		計	7,820	6,198	2,894	3,649	7,475		
	合 計		8,964	6,548	2,902	4,089	8,521	2,213	3,260
2019 年度	有形 固定資産	建物付属設備	189	77	1	29	236	233	469
		構築物	1	—	—	0	1	0	1
		器具備品	726	198	10	307	606	1,185	1,792
		リース資産	129	282	—	130	282	1,222	1,504
		計	1,046	559	12	467	1,126	2,641	3,768
	無形 固定資産	ソフトウェア	7,132	1,617	2	2,192	6,555		
		ソフトウェア仮勘定	322	1,956	796	—	1,482		
		電信電話専用施設利用権	15	0	—	1	15		
		商標権	1	—	—	0	1		
		著作権	2	—	—	—	2		
		計	7,475	3,574	798	2,193	8,057		
	合 計		8,521	4,133	810	2,661	9,183	2,641	3,768
2020 年度	有形 固定資産	建物付属設備	236	11	—	26	220	259	480
		構築物	1	—	—	0	0	0	1
		器具備品	606	535	0	353	787	1,517	2,305
		リース資産	282	227	17	110	382	1,262	1,644
		計	1,126	774	18	491	1,391	3,040	4,431
	無形 固定資産	ソフトウェア	6,555	1,517	0	2,364	5,707		
		ソフトウェア仮勘定	1,482	2,766	858	—	3,389		
		電信電話専用施設利用権	15	—	—	1	14		
		商標権	1	—	—	0	0		
		著作権	2	—	—	—	2		
		計	8,057	4,283	859	2,366	9,114		
	合 計		9,183	5,057	877	2,857	10,506	3,040	4,431
2021 年度	有形 固定資産	建物付属設備	220	11	0	25	206	283	489
		構築物	0	—	—	0	0	0	1
		器具備品	787	352	13	400	726	1,694	2,421
		リース資産	382	4	—	103	283	1,343	1,627
		計	1,391	368	13	529	1,217	3,322	4,540
	無形 固定資産	ソフトウェア	5,707	6,303	40	2,520	9,450		
		ソフトウェア仮勘定	3,389	2,819	5,291	—	917		
		電信電話専用施設利用権	14	1	—	1	14		
		商標権	0	—	—	0	0		
		著作権	2	—	—	—	2		
		計	9,114	9,124	5,332	2,521	10,385		
	合 計		10,506	9,493	5,346	3,051	11,602	3,322	4,540
2022 年度	有形 固定資産	建物付属設備	206	45	—	24	226	308	535
		構築物	0	—	—	0	0	1	1
		器具備品	726	470	0	362	834	2,044	2,879
		リース資産	283	—	—	102	181	1,422	1,603
		計	1,217	516	0	489	1,243	3,776	5,020
	無形 固定資産	ソフトウェア	9,450	5,260	3	3,600	11,106		
		ソフトウェア仮勘定	917	1,026	1,901	—	41		
		のれん	—	1,450	—	72	1,377		
		電信電話専用施設利用権	14	0	—	1	13		
		商標権	0	—	—	0	—		
		著作権	2	0	—	—	3		
		計	10,385	7,738	1,905	3,674	12,542		
	合 計		11,602	8,254	1,906	4,163	13,786	3,776	5,020

II 財産の状況に関する事項

1 貸借対照表（2023年3月20日現在）

（単位：百万円/百万円未満切捨て、％）

科 目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	前年比
(資産の部)						
現金及び預金	132,718	125,979	94,806	81,858	73,214	89.4
現金	0	0	0	0	0	0.0
預貯金	132,717	125,979	94,806	81,858	73,214	89.4
金銭の信託	55,966	99,876	132,956	143,578	106,680	74.3
有価証券	198,482	189,000	225,458	255,488	260,654	102.0
譲渡性預金	41,000	38,000	28,500	32,500	13,500	41.5
国債	87,631	84,406	111,206	126,297	141,263	111.8
地方債	32,274	29,463	39,900	46,631	55,075	118.1
社債	37,320	36,874	45,595	49,804	50,560	101.5
株式	255	255	255	255	255	100.0
貸付金	—	—	—	—	440	—
再共済勘定	199	265	151	145	255	175.9
業務委託勘定	7,255	7,423	7,612	7,764	7,934	102.2
業務受託勘定	308	314	306	355	343	96.6
その他共済資産	181	143	186	196	182	92.9
前払費用	73	84	67	44	30	68.2
未収収益	178	173	166	158	169	107.0
その他資産	1,155	1,412	2,512	2,986	4,500	150.7
未収金	288	558	1,618	1,718	436	25.4
未収還付法人税等	—	—	—	—	2,420	—
差入保証金	181	178	178	173	194	112.1
長期前払消費税等	638	597	578	941	1,249	132.7
その他の資産	46	78	136	153	200	130.7
業務用固定資産	8,521	9,183	10,506	11,602	13,786	118.8
減価償却資産	916	843	1,008	933	1,062	113.8
リース資産（有形）	129	282	382	283	181	64.0
無形固定資産	7,475	8,057	9,114	10,385	12,542	120.8
関係団体等出資金	270	331	331	332	430	129.5
関係団体出資金	260	260	260	261	261	100.0
子会社等株式	9	71	71	71	168	236.6
繰延税金資産	16,353	17,824	17,883	18,921	23,876	126.2
資産合計	421,662	452,014	492,945	523,434	492,497	94.1

(単位：百万円/百万円未満切捨て、%)

科 目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	前年比
(負債の部)						
共済契約準備金	259,856	282,233	306,166	330,820	324,344	98.0
支払備金	20,595	21,542	20,610	28,273	30,086	106.4
責任準備金	159,960	177,822	199,460	218,494	240,348	110.0
割戻準備金	79,300	82,868	86,095	84,052	53,909	64.1
再共済勘定	214	227	250	270	283	104.8
業務委託勘定	4,181	4,389	4,416	4,387	4,545	103.6
業務受託勘定	0	0	0	0	0	0.0
その他共済負債	30	48	27	432	394	91.2
前受収益	—	—	1	—	—	—
未払費用	2,709	2,601	2,687	3,484	3,826	109.8
その他負債	6,800	6,597	7,933	5,787	2,413	41.7
未払金	1,057	560	341	395	658	166.6
未払法人税等	4,500	4,700	6,100	3,800	51	1.3
預り金	883	908	984	1,164	1,336	114.8
リース債務	146	255	345	253	157	62.1
資産除去債務	143	144	145	146	146	100.0
その他の負債	70	29	16	27	63	233.3
引当金	1,485	1,674	1,873	1,994	2,476	124.2
賞与引当金	200	213	214	228	259	113.6
退職給付引当金	1,285	1,460	1,658	1,766	2,216	125.5
価格変動準備金	4,176	4,811	6,010	6,569	7,182	109.3
負債合計	279,457	302,582	329,369	353,748	345,466	97.7
(純資産の部)						
会員資本	141,138	150,160	161,251	168,465	148,423	88.1
出資金	63,359	63,359	63,359	63,362	63,384	100.0
剰余金	77,779	86,800	97,891	105,103	85,038	80.9
法定準備金	15,200	16,960	18,920	21,300	22,900	107.5
任意積立金	52,081	59,050	66,133	74,186	62,138	83.8
当期末処分剰余金	10,498	10,790	12,838	9,617	—	—
(うち当期損失金(△)または当期剰余金)	8,766	9,781	11,851	7,971	△ 19,304	△ 242.2
評価・換算差額等	1,066	△ 728	2,325	1,220	△ 1,391	△ 114.0
その他有価証券評価差額金	1,066	△ 728	2,325	1,220	△ 1,391	△ 114.0
純資産合計	142,205	149,431	163,576	169,686	147,031	86.6
負債・純資産合計	421,662	452,014	492,945	523,434	492,497	94.1

2 損益計算書 (自2022年3月21日～至2023年3月20日)

(単位：百万円/百万円未満切捨て、%)

科 目		2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	前年比
経常損益	経常収益	225,541	230,788	238,452	244,658	251,560	102.8
	共済掛金等収入	192,327	196,343	201,987	207,359	213,671	103.0
	受入共済掛金	191,032	194,888	200,950	206,273	211,729	102.6
	受入共済金	828	986	583	595	846	142.2
	受入受託手数料	466	468	453	490	1,095	223.5
	共済契約準備金戻入額	30,974	31,850	33,485	34,300	35,128	102.4
	支払備金戻入額	—	—	932	—	4,432	—
	割戻準備金戻入額	30,974	31,850	32,553	34,300	30,695	89.5
	資産運用収益	1,752	2,073	2,457	2,320	2,245	96.8
	利息及び配当金等収益	1,116	1,124	1,203	1,338	1,552	116.0
	金銭の信託運用益	635	949	1,230	896	652	72.8
	有価証券売却益	—	0	—	—	—	—
	有価証券償還益	—	—	—	62	—	—
	その他の運用収益	—	—	23	22	40	181.8
	その他経常収益	487	520	521	678	515	76.0
	受取出資配当金	73	72	81	81	86	106.2
	その他の経常収益	414	447	439	596	429	72.0
	経常費用	177,797	180,842	184,579	200,470	275,727	137.5
	共済金等支払額	101,448	104,069	103,191	110,327	187,403	169.9
	支払共済金	67,352	68,934	67,479	72,460	152,859	211.0
	支払共済掛金	849	911	1,031	1,137	1,185	104.2
	支払返戻金	2,354	2,451	2,206	2,527	2,762	109.3
	支払割戻金	30,892	31,771	32,474	34,202	30,596	89.5
	共済契約準備金繰入額	19,006	18,826	21,656	26,725	17,269	64.6
	支払備金繰入額	929	947	—	7,662	—	—
	責任準備金繰入額	18,049	17,861	21,638	19,034	17,227	90.5
	割戻金据置利息繰入額	26	18	18	29	41	141.4
	資産運用費用	128	155	213	292	262	89.7
	有価証券売却損	—	—	2	—	—	—
	その他の運用費用	128	155	210	292	262	89.7
	事業経費	56,783	57,462	59,265	62,856	70,492	112.1
	人件費	6,707	7,101	7,408	7,877	8,684	110.2
	物件費	23,494	23,510	24,256	27,108	33,160	122.3
	共済委託手数料	26,580	26,850	27,600	27,870	28,647	102.8
	その他経常費用	430	327	251	268	298	111.2
	寄付金	19	23	25	42	34	81.0
	その他の経常費用	411	304	226	225	264	117.3
	経常損失金(△)または経常剰余金	47,743	49,946	53,873	44,188	△ 24,166	△ 54.7
特別損益	特別利益	—	—	—	—	—	—
	固定資産売却益	—	—	—	—	—	—
	特別損失	575	656	1,222	643	692	107.6
	リース解約損	—	—	17	—	—	—
	固定資産除却損	7	14	0	54	4	7.4
	固定資産売却損	—	—	—	—	—	—
	異常災害見舞金・ストーカー被害見舞金	51	7	4	30	74	246.7
	価格変動準備金繰入額	516	634	1,199	558	612	109.7
	税引前当期損失金(△)または税引前当期剰余金	47,168	49,289	52,650	43,544	△ 24,858	△ 57.1
	法人税等	4,609	4,883	6,277	3,955	297	7.5
	法人税等還付税額	—	—	—	—	△ 2,420	—
	法人税等調整額	△ 1,063	△ 776	△ 1,240	△ 610	△ 3,943	646.4
	割戻準備金繰入額	34,856	35,401	35,762	32,229	511	1.6
	当期損失金(△)または当期剰余金	8,766	9,781	11,851	7,971	△ 19,304	△ 242.2
	当期首繰越剰余金	517	441	489	599	398	66.4
	異常災害見舞金積立金取崩額	51	7	4	30	73	243.3
	事務システム整備対応積立金取崩額	876	356	315	847	1,271	150.1
	加入者貢献積立金取崩額	286	203	177	167	182	109.0
	推進強化積立金取崩額	—	—	—	—	157	—
	財務基盤強化積立金取崩額	—	—	—	—	17,219	—
	当期末処理損失金(△)または当期末処分剰余金	10,498	10,790	12,838	9,617	—	—

3 部門別損益計算書(自2022年3月21日～至2023年3月20日)

(単位: 百万円/百万円未満切り捨て)

科 目 / 部 門	共済事業								合 計	その他 事業 (受託共済)	総合計
	生命 共済	住宅災害 共済	こども 共済	定期生命 共済	終身 共済	学生総合 共済	計	部門外 勘定			
経常収益	88,240	1,488	39,671	83,118	33,236	4,872	250,628	779	251,407	152	251,560
共済掛金等収入	72,757	1,254	36,317	69,711	32,053	1,424	213,520	—	213,520	151	213,671
受入共済掛金	72,315	1,071	36,058	69,321	31,980	981	211,729	—	211,729	—	211,729
受入共済金	202	180	0	390	72	—	846	—	846	—	846
受入受託手数料	239	3	257	—	—	443	944	—	944	151	1,095
共済契約準備金戻入額	15,144	225	3,230	12,979	140	3,408	35,128	—	35,128	—	35,128
支払備金戻入額	△ 495	△ 1	2,155	△ 665	30	3,408	4,432	—	4,432	—	4,432
割戻準備金戻入額	15,639	227	1,075	13,644	109	—	30,695	—	30,695	—	30,695
資産運用収益	14	0	5	405	1,040	0	1,465	779	2,245	—	2,245
利息及び配当金等収益	14	0	5	395	1,010	0	1,425	126	1,552	—	1,552
金銭の信託運用益	—	—	—	—	—	—	—	652	652	—	652
有価証券売却却益	—	—	—	—	—	—	—	0	0	—	0
その他の運用収益	—	—	—	10	29	—	40	0	40	—	40
その他経常収益	324	8	117	22	2	39	514	0	514	0	515
受取出資配当金	57	0	22	0	0	5	86	—	86	—	86
その他の経常収益	266	6	95	22	2	34	428	0	428	0	429
経常費用	91,131	1,171	70,424	68,511	35,647	8,454	275,341	281	275,622	104	275,727
共済金等支払額	64,251	870	58,793	44,925	11,276	7,287	187,403	—	187,403	—	187,403
支払共済金	48,432	257	57,719	29,449	9,735	7,265	152,859	—	152,859	—	152,859
支払共済掛金	200	386	—	498	99	—	1,185	—	1,185	—	1,185
支払返戻金	—	—	—	1,403	1,337	22	2,762	—	2,762	—	2,762
支払割戻金	15,618	226	1,074	13,573	103	—	30,596	—	30,596	—	30,596
共済契約準備金繰入額	1,055	△ 247	164	2,487	17,221	△ 3,412	17,269	—	17,269	—	17,269
責任準備金繰入額	1,055	△ 247	164	2,447	17,219	△ 3,412	17,227	—	17,227	—	17,227
割戻金据置利息繰入額	—	—	—	40	1	—	41	—	41	—	41
資産運用費用	—	—	—	2	5	—	8	254	262	—	262
その他の運用費用	—	—	—	2	5	—	8	254	262	—	262
事業経費	25,710	545	11,419	21,015	7,117	4,554	70,362	26	70,388	103	70,492
人件費	3,414	86	1,684	2,441	662	377	8,667	—	8,667	17	8,684
物件費	12,112	307	5,627	8,371	3,207	3,421	33,047	26	33,073	86	33,160
共済委託手数料	10,183	150	4,106	10,202	3,247	756	28,647	—	28,647	0	28,647
その他経常費用	114	2	46	82	26	24	297	—	297	0	298
寄付金	14	0	5	10	3	—	34	—	34	0	34
その他の経常費用	99	2	41	72	23	24	263	—	263	—	264
経常損失金(△) または経常剰余金	△ 2,890	317	△ 30,753	14,606	△ 2,410	△ 3,582	△ 24,713	498	△ 24,214	48	△ 24,166
特別損失	0	—	—	79	51	4	135	482	617	74	692
固定資産除却損	0	—	—	—	—	4	4	—	4	—	4
異常災害見舞金・ ストーカー被害見舞金	—	—	—	—	—	—	—	—	—	74	74
価格変動準備金繰入額	—	—	—	79	51	—	130	482	612	—	612
税引前当期損失金(△) または税引前当期剰余金	△ 2,890	317	△ 30,753	14,527	△ 2,462	△ 3,586	△ 24,848	16	△ 24,832	△ 26	△ 24,858
法人税等	89	38	48	90	30	0	296	—	296	0	297
法人税還付税額	△ 1,013	△ 25	△ 393	△ 735	△ 245	—	△ 2,414	—	△ 2,414	△ 5	△ 2,420
法人税等調整額	△ 1,833	73	△ 382	△ 1,130	△ 464	△ 212	△ 3,950	15	△ 3,935	△ 7	△ 3,943
割戻準備金繰入額	—	—	—	506	4	—	511	—	511	—	511
当期損失金(△)または当期剰余金	△ 132	230	△ 30,024	15,796	△ 1,787	△ 3,373	△ 19,291	0	△ 19,290	△ 13	△ 19,304
当期首繰越剰余金	201	2	22	155	15	—	397	0	397	0	398
事務システム整備対応積立金取崩額	508	12	152	285	216	92	1,269	—	1,269	2	1,271
加入者貢献積立金取崩額	76	1	29	55	18	—	182	—	182	—	182
推進強化積立金取崩額	55	1	15	50	31	3	157	—	157	—	157
財務基盤強化積立金取崩額	—	—	14,693	—	875	1,651	17,219	—	17,219	—	17,219
当期末処理損失金(△) または当期末処分剰余金	709	249	△ 15,110	16,343	△ 629	△ 1,626	△ 64	0	△ 63	63	—

4 注記事項

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 有価証券の評価基準および評価方法

① 売買目的有価証券

事業年度末日の市場価格等にもとづく時価法（売却原価の算定は移動平均法）

② 満期保有目的の債券

償却原価法（定額法）

③ 子会社・関連会社株式（消費生活協同組合法施行規則第210条第2項に規定する子法人等および同規則第210条第3項に規定する関連法人等が発行する株式をいう）

移動平均法による原価法

④ その他有価証券

原則

事業年度末日の市場価格等にもとづく時価法（売却原価の算定は移動平均法）

市場価格のない株式等

移動平均法による原価法

なお、その他有価証券の評価差額については、全部純資産直入法により処理しております。

(2) 金銭の信託の評価基準および評価方法

金銭の信託において信託財産として運用している有価証券は事業年度末日の市場価格等にもとづく時価法で評価しております。

(3) 業務用固定資産の減価償却の方法

① 有形固定資産（所有権移転外ファイナンス・リース取引を除く）

定率法によっております。

ただし、2016年4月1日以降取得した建物附属設備ならびに構築物については、定額法によっております。

なお、主な耐用年数は次のとおりです。

建物附属設備、器具備品 2年～20年

② 無形固定資産（所有権移転外ファイナンス・リース取引を除く）

ソフトウェア 利用可能期間にもとづく定額法（2年～5年）

のれん その効果のおよぶ期間（10年）にもとづく定額法

③ 所有権移転外ファイナンス・リース取引

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法

(4) 引当金の計上基準

① 貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、それぞれ以下の基準により計上することとしております。

ア) 一般債権

過去の貸倒実績率

イ) 貸倒懸念債権および破産更生債権等

個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。なお、当事業年度末において貸倒引当金の計上はありません。

② 賞与引当金

職員に対して支給する賞与の支出にあてるため、翌事業年度の夏季賞与支給見込額のうち、当事業年度に負担すべき額を計上しております。

③ 退職給付引当金

職員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務および年金資産の見込額にもとづき計上しております。

ア) 退職給付見込額の期間帰属方法

退職給付債務の算定にあたり、退職給付見込額を当事業年度末までの期間に帰属させる方法については、期間定額基準によっております。

イ) 数理計算上の差異および過去勤務費用の費用処理方法

数理計算上の差異については、その発生時における職員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（5年）による定額法により按分した額を、それぞれ発生の日翌事業年度から費用処理することとしております。また、過去勤務費用は、発生時の事業年度で費用処理することとしております。

(5) 価格変動準備金の計上方法

価格変動準備金は、債券等の価格変動による損失に備えるため、消費生活協同組合法第50条の9および消費生活協同組合法施行規則第186条の規定にもとづき計上しております。

(6) 決算関係書類の作成基準

消費生活協同組合法および同施行規則にもとづいて作成しております。

(7) 消費税等の会計処理

税抜方式によっております。

ただし、資産に係る控除対象外消費税等は、長期前払消費税等に計上し5年間で均等償却しております。

(8) 端数処理

決算関係書類の金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

(9) その他決算関係書類の作成のための基本となる重要な事項

① 受入共済掛金

受入共済掛金は、収納があり、共済契約上の責任が開始しているものについて、当該収納した金額により計上しております。なお、収受した共済掛金のうち、期末時点において未経過となっている期間に対応する部分については、消費生活協同組合法第50条の7および消費生活協同組合法施行規則第179条第1項第2号の規定にもとづき責任準備金に積み立てております。

② 支払共済金、支払返戻金、支払割戻金（以下「支払共済金等」という。）

支払共済金等は共済事業規約にもとづく支払事由が発生し、当該規約にもとづいて算定された金額を支払った契約について、当該金額により計上しております。

なお、消費生活協同組合法第50条の8および消費生活協同組合法施行規則第184条の規定にもとづき、期末時点において支払義務が発生しているが支払いがおこなわれていない、または支払事由の報告を受けていないが支払事由がすでに発生したと認められる共済金等について支払準備金に積み立てております。

なお、既発生未報告支払備金（まだ支払事由の発生の報告を受けていないが共済契約に規定する支払事由が既に発生したと認める共済金等をいう。以下同じ。）については、新型コロナウイルス感染症と診断され、宿泊施設また

は自宅にて医師等の管理下で療養された場合（以下「みなし入院」という。）の入院共済金等の支払対象を当事業年度中に変更したことにより、消費生活協同組合法施行規程第9条第1項の規定にもとづく計算では適切な水準の額を算出することができないことから、消費生活協同組合法施行規程第9条第2項の規定にもとづき、以下の方法により算出した額を計上しております。

消費生活協同組合法施行規程第9条第1項に掲げる全ての事業年度の既発生未報告支払備金積立所要額および共済金等の支払額から、重症化リスクの高い方（以下「4類型」）以外のみなし入院に係る額を除外した上で、消費生活協同組合法施行規程第9条第1項と同様の方法により算出しております。また、診断日が2022年9月25日以前の4類型以外のみなし入院に係る額を推計するために用いた4類型のみなし入院に係る額は、2022年9月26日以降の全国新規感染者数のうち当会の4類型に係るみなし入院の件数が占める割合を2022年9月25日以前の全国新規感染者数のうち当会が支払ったみなし入院の件数が占める割合で除して得られた率を、診断日が2022年9月25日以前の方に支払ったみなし入院に係る額に乗じて推計しております。

③責任準備金の積立方法

責任準備金は、期末時点において共済契約上の責任が開始している契約について、共済契約にもとづく将来における債務の履行に備えるため、消費生活協同組合法第50条の7および消費生活協同組合法施行規則第179条の規定にもとづき共済掛金および責任準備金の算出方法書に記載された方法に従って計算し積み立てております。責任準備金のうち共済掛金積立金については消費生活協同組合法施行規則第179条第1項第1号および同条第2項第1号の規定にもとづき平準純共済掛金式により計算しております。また、責任準備金のうち異常危険準備金については消費生活協同組合法第50条の7および消費生活協同組合法施行規則第179条第1項第3号の規定にもとづき、共済契約にもとづく将来の債務を確実に履行するため将来発生が見込まれる危険に備えて積み立てております。

（会計方針の変更）

「時価の算定基準に関する会計基準」（企業会計基準第30号 2019年7月4日）等を当事業年度の期首から適用し、時価算定会計基準第19項および「金融商品に関する会計基準」（企業会計基準第10号 2019年7月4日）第44-2項に定める経過的な取り扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。なお、これによる決算関係書類への影響はありません。

また、「金融商品関係」注記において、金融商品の時価のレベルごとの内訳等に関する事項等の注記をおこなうことといたしました。

2. 貸借対照表等に関する注記

（1）資産に係る減価償却累計額

資産に係る減価償却累計額は次のとおりです。

減価償却資産	2,353百万円
リース資産（有形）	1,422百万円

（2）子法人等に対する金銭債権・金銭債務

子法人等に対する金銭債権は502百万円です。

（3）再共済に付した部分に相当する責任準備金および支払備金の額

消費生活協同組合法施行規則第180条にもとづく再共済に付した部分に相当する責任準備金は7,886百万円です。

また、同規則第184条第3項にもとづく再共済に付した部分に相当する支払備金は205百万円です。

3. 損益計算書に関する注記

（1）子法人等との取引高

子法人等との取引による収益の総額は396百万円になります。

（2）教育事業等繰越金

当期首繰越剰余金には、剰余金処分により繰越した教育事業等繰越金398百万円が含まれております。

4. 退職給付に関する注記

（1）採用している退職給付制度の概要

職員の退職給付にあてるため、確定給付企業年金制度（積立型）および退職一時金制度（非積立型）の確定給付制度を採用しております。確定給付企業年金制度（積立型）では、キャッシュ・バランス・プランを導入しております。当該制度では加入者ごとに仮想口座を設定し、その仮想口座に掛金が拠出・積立され、さらに国債の利回りなど規約で定める一定の利率によって利息を付与していき、その累計額をもとにして年金または一時金を支給しております。

また、退職一時金制度（非積立型）では、退職給付として、給与と勤務期間にもとづいた一時金を支給しております。この他に、職員については日生協企業年金基金（総合設立型）に加入しております。

（2）確定給付制度

①退職給付債務の当事業年度期首残高と

当事業年度期末残高の調整表

当事業年度期首残高	3,197百万円
事業譲受に伴う受け入れ額	389百万円
勤務費用	260百万円
利息費用	19百万円
数理計算上の差異の当期発生額	△48百万円
退職給付の支払額	△137百万円
当事業年度期末残高	3,680百万円

②年金資産の当事業年度期首残高と

当事業年度期末残高の調整表

当事業年度期首残高	1,376百万円
事業譲受に伴う受け入れ額	31百万円
期待運用収益	27百万円
数理計算上の差異の当期発生額	△13百万円
事業主からの拠出額	142百万円
退職給付の支払額	△75百万円
当事業年度期末残高	1,487百万円

③退職給付債務および年金資産の当事業年度期末残高と貸借対照表に計上された退職給付引当金の調整表

積立型制度の退職給付債務	2,037百万円
年金資産	△1,487百万円
	549百万円
非積立型制度の退職給付債務	1,642百万円
未認識数理計算上の差異	24百万円
退職給付引当金	2,216百万円

④退職給付に関連する損益

勤務費用	260百万円
利息費用	19百万円
期待運用収益	△27百万円
数理計算上の差異の当期の費用処理額	44百万円
確定給付制度に係る退職給付費用	295百万円

⑤年金資産に関する事項

ア) 年金資産の主な内訳

債券	32.4%
株式	18.7%
短期資産	7.5%
一般勘定	24.6%
その他	16.9%
合計	100.0%

イ) 長期期待運用収益率の設定方法

年金資産の長期期待運用収益率を決定するため、現在および予想される年金資産の配分と、年金資産を構成する多様な資産からの現在および将来期待される長期の収益率を考慮しております。

⑥数理計算上の計算基礎に関する事項

当事業年度末における主要な数理計算上の計算基礎	
割引率	0.8%
長期期待運用収益率	2.0%

(3) 企業年金基金制度

複数の事業主により設立された企業年金である総合設立型であり、要拠出額50百万円を退職給付費用として処理しております。

なお、日生協企業年金基金の直近の積立状況および同基金全体に占める当会の掛金拠出割合ならびにこれらに関する補足説明は次のとおりです。

①基金全体の積立状況

年金資産の額(2022年3月31日現在)	45,884百万円
年金財政計算上の数理債務の額(2022年3月31日現在)	35,065百万円
差引額	10,819百万円

②同基金全体に占める当会の掛金拠出割合

(2023年3月20日現在)	2.14%
----------------	-------

③補足説明

繰越不足金および過去勤務債務残高はありません。

5. 税効果会計に関する注記

(1) 繰延税金資産および繰延税金負債の発生
主な原因別内訳

繰延税金資産

異常危険準備金	15,039百万円
IBNR備金	4,463百万円
税務上の繰越欠損金	2,872百万円

価格変動準備金	2,004百万円
減価償却費償却超過額	675百万円
その他有価証券評価差額金	538百万円
退職給付引当金	518百万円
その他	323百万円
繰延税金資産小計	26,437百万円
評価性引当額	△2,152百万円
繰延税金資産合計	24,285百万円
繰延税金負債	
差額負債調整勘定	391百万円
その他	17百万円
繰延税金負債合計	409百万円
繰延税金資産の純額	23,876百万円

(2) 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との差異の原因となった主要な項目別の内訳

法定実効税率	27.91%
--------	--------

(調整)

法人税繰戻還付の利用	△11.43%
住民税均等割等	△1.20%
価格変動準備金	△0.69%
割戻準備金	0.57%
その他	△0.51%

税効果会計適用後の法人税等の負担率	14.66%
-------------------	--------

6. リースにより使用する固定資産に関する注記

貸借対照表に計上した固定資産のほか、電子計算機、事務機器の一部については、所有権移転外ファイナンス・リース契約により使用しております。

7. 金融商品に関する注記

(1) 金融商品の状況に関する事項

①金融商品に対する取り組み方針

当会は、共済事業として各種共済契約の引き受けをおこなっており、共済掛金として収受した金銭を預貯金、有価証券、金銭の信託等の金融資産にて運用しております。資産運用については、長期安定的な収益を確保する観点から、安全性、収益性および流動性に留意し、健全な運用を図る方針としております。

②金融商品の内容およびそのリスク

当会が保有する金融資産のうち有価証券と金銭の信託における信託財産は、主に譲渡性預金、公社債、株式、投資信託であり、市場リスク、信用リスク、市場流動性リスクに晒されております。

③金融商品に係るリスク管理体制

当会は「リスク管理基本規則」のもとに、各種リスクに関する管理規程等を整備し、リスク管理の方法を定めております。金融商品に係るリスクについては、「資産運用リスク管理規程」「流動性リスク管理規程」にもとづき適切に管理しております。また、取引実行担当部署(フロント)である資産運用部署と後方事務部署(バック)である経理担当部署とは独立した資産運用リスク管理部署(ミドル)を設置し、牽制機能確保しております。

ア) 市場リスクの管理

有価証券等の市場リスクを有する資産について、時価残高や含み損益の状況を把握するとともに、金利リスクのある資産については金利感応度を把握し、管理しております。また、リスク許容限度(損失限度)額を設定し、最大想定損失額

(VaR) を計測して管理するとともに、価格変動の大きな資産については、アラームポイントを設定して損失額の拡大を抑えております。

イ) 信用リスクの管理

預金や事業債等の信用リスクを有する資産について、外部信用格付等を利用した管理基準を設定し管理しております。

ウ) 市場流動性リスクの管理

資金繰りの状況を平常時、懸念時、危機時、巨大災害時等に区分し、資金繰りの状況に応じて迅速かつ適切な対応ができるよう管理しております。

(2) 金融商品の時価等に関する事項

当事業年度末における貸借対照表計上額、時価およびこれらの差額については、次のとおりです。(単位: 百万円)

	貸借対照表計上額	時価	差額
①現金及び預金	73,214	72,687	△527
②金銭の信託	106,680	106,680	—
③有価証券	260,399	249,730	△10,668
譲渡性預金	13,500	13,500	—
満期保有目的の債券	175,191	164,522	△10,668
その他有価証券	71,707	71,707	—

非上場株式については、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められることから「③有価証券」に含めておりません。当該金融商品の貸借対照表計上額は255百万円です。

(3) 金融商品の時価のレベルごとの内訳等に関する事項

金融商品の時価を、時価の算定に用いたインプットの観察可能性および重要性に応じて、以下の3つのレベルに分類しております。

- ・レベル1の時価：同一の資産または負債の活発な市場における(無調整の)相場価格により算定した時価
- ・レベル2の時価：レベル1のインプット以外の直接または間接的に観察可能なインプットを用いて算定した時価
- ・レベル3の時価：重要な観察できないインプットを使用して算定した時価

時価の算定に重要な影響を与えるインプットを複数使用している場合には、それらのインプットがそれぞれ属するレベルのうち時価の算定における優先順位が最も低いレベルに時価を分類しております。

①時価をもって貸借対照表計上額とする金融商品

(単位: 百万円)

	時価			
	レベル1	レベル2	レベル3	合計
金銭の信託(※)	100	8,396	—	8,496
その他有価証券	—	71,707	—	71,707
国債	—	1,358	—	1,358
地方債	—	39,210	—	39,210
社債	—	31,138	—	31,138
資産計	100	80,104	—	80,204

(※) 「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号2019年7月4日) 第26項に従い、経過措置を適用した投資信託については、上記表には含めておりません。貸借対照表における当該投資信託の金額は金銭の信託72,183百万円です。

②時価をもって貸借対照表計上額とする金融商品以外の金融商品

(単位: 百万円)

	時価			
	レベル1	レベル2	レベル3	合計
現金及び預金	0	72,687	—	72,687
金銭の信託	—	26,000	—	26,000
譲渡性預金	—	13,500	—	13,500
満期保有目的の債券	132,162	32,359	—	164,522
国債	132,162	—	—	132,162
地方債	—	14,617	—	14,617
社債	—	17,742	—	17,742
資産計	132,162	144,547	—	276,710

③金融商品の時価の算定方法

ア) 現金及び預金、譲渡性預金

現金については、時価が帳簿価額と近似していることから当該帳簿価額を時価としており、レベル1の時価に分類しております。預金、譲渡性預金については、満期までの期間が1年以内のものを除き新規に預金を行った場合に想定される預金金利で割り引いた現在価値を想定しております。満期までの期間が1年以内のものは、時価が帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額を時価としております。これらについてはレベル2の時価に分類しております。

イ) 金銭の信託

金銭の信託については、取引金融機関から入手した価格を用いて評価しており、主に信託財産の構成物のレベルにもとづき、レベル1の時価またはレベル2の時価に分類しております。信託財産の構成物のうち投資信託は、「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号2019年7月4日) 第26項に従い経過措置を適用し、レベルを付していません。なお、合同運用指定金銭信託については、短期間で決済されるものであり、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額を時価としており、レベル2の時価に分類しております。

8. 関連当事者との取引に関する注記

記載すべき重要なものはありません。

9. 重要な後発事象に関する注記

特記すべき事象はありません。

10. その他の注記

(1) 企業結合に関する注記

当会は、2022年1月13日開催の2021年度第5回理事会において、全国大学生協共済生活協同組合連合会の共済事業を譲り受けることについて議決し、同日付で同連合会と事業譲受に関する契約を締結いたしました。また、当該事業譲渡契約にもとづき、2022年9月30日に同事業の譲受を実施いたしました。

①事業譲受の概要

ア) 相手企業の名称および譲受事業の内容

相手企業の名称 全国大学生協共済生活協同組合連合会
譲受事業の内容 共済事業

イ) 事業譲受をおこなった主な理由

元受事業を当会に集中することで学生総合共済(2022年4月1日全国大学生協共済生活協同組合連合会との共同引受開始)の経営基盤を強化し、契約者保護の強化をはかります。

- ②事業譲受日
2022年9月30日
- ③企業結合の法的形式
現金を対価とする事業譲受
- ④決算関係書類に含まれている被取得事業の業績の期間
2022年10月1日から2023年3月20日
- ⑤譲受事業の取得原価および対価の種類ごとの内訳
取得の対価 現金 △9,328百万円
取得原価 △9,328百万円
9,328百万円の現金を受領しました。
- ⑥主要な取得関連費用の内容および金額
アドバイザー業務に対する報酬・手数料等 50百万円
- ⑦発生したのれんの金額、発生原因、償却方法および償却期間
ア) 発生したのれん
1,450百万円
イ) 発生原因
今後の事業展開により期待される将来の超過収益力の合理的な見積りにより発生したものです。
ウ) 償却方法および償却期間
10年にわたる均等償却
- ⑧企業結合日に受け入れた資産および引き受けた負債の額ならびにその主な内訳
資産の額
現金 9,328百万円
貯蔵品 26百万円
建物附属設備 14百万円
器具備品 66百万円
ソフトウェア 344百万円
合計 9,780百万円

負債の額	
支払備金	6,246百万円
責任準備金	4,625百万円
未払金	0百万円
退職給付引当金	358百万円
合計	11,230百万円

- ⑨企業結合が事業年度の開始の日に完了したと仮定した場合の当事業年度の損益計算書に及ぼす影響の概算額およびその算定方法
当事業年度における概算額の合理的な算定が困難であるため、記載しておりません。

(2) 未適用の会計基準等について

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日 企業会計基準委員会)

①概要

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準委員会 企業会計基準適用指針第31号)の2021年6月17日の改正は、2019年7月4日の公表時において、「投資信託の時価の算定」に関する検討には、関係者との協議等に一定の期間が必要と考えられるため、また、「貸借対照表に持分相当額を純額で計上する組合等への出資」の時価の注記についても、一定の検討を要するため、「時価の算定に関する会計基準」公表後、おおむね1年をかけて検討をおこなうこととされていたものが改正され、公表されたものです。

②当該会計基準等の適用予定

2023年度の期首より適用いたします。

③当該会計基準等が決算関係書類に与える影響

当決算関係書類の作成時点において評価中です。

5 剰余金処分計算書

(単位: 百万円/百万円未満切り捨て)

科 目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
I 当期末処分剰余金	10,498	10,790	12,838	9,617	0
II 任意積立金取崩額	1,233	1,385	1,620	2,593	3,902
事務システム整備対応積立金取崩額	1,233	1,385	1,620	2,593	3,902
III 剰余金処分別	11,290	11,686	13,859	11,811	3,902
法定準備金	1,760	1,960	2,380	1,600	—
出資配当金	760	760	760	760	—
任意積立金	8,770	8,966	10,718	9,451	3,902
異常災害見舞金積立金	244	196	270	243	—
事務システム整備対応積立金	2,390	3,466	2,351	2,370	—
加入者貢献積立金	286	203	177	167	—
推進強化積立金	—	—	1,000	—	—
財務基盤強化積立金	5,850	5,100	6,920	6,670	3,902
IV 次期繰越剰余金	441	489	599	398	0

[2022年度に関する注記]

- 注1. 法定準備金は、当期剰余金がマイナスのため積み立てません。また、元受共済事業全体で経常損失が生じること、全ての事業において割戻を実施しないことから、出資配当については行いません。
2. 財務基盤強化積立金については、今回の剰余金処分で事務システム整備対応積立金取り崩し額と同額の3,902,530,724円を積み立て、財務基盤の安定、将来的な経営リスクに備え、長期的にもESR目標を維持できるようにします。積立後の残高は47,702,569,018円となります。
3. 次期繰越剰余金は0円です。

CO・OP共済事業の経過と実績 (CO・OP共済グループ全体)

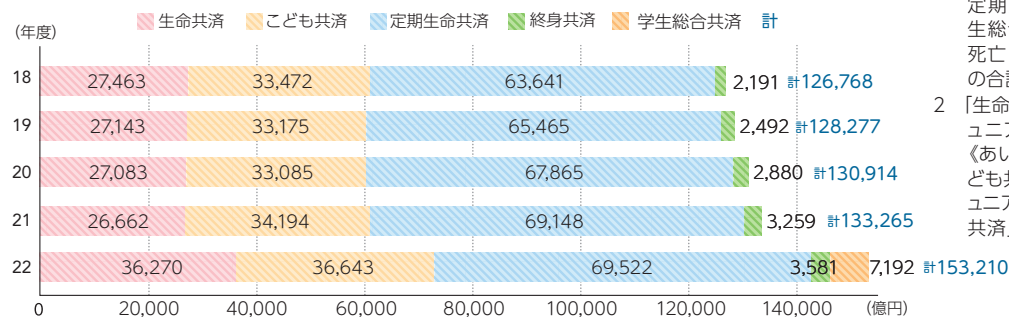
CO・OP共済引受団体(コープ共済連、共同引受会員)の総体におけるCO・OP共済事業の経過と実績についてお知らせします。

契約高

保有契約高 ⇨ **15兆3,210億円**

CO・OP共済グループ全体の保有契約高(元受共済)は、15兆3,210億円(前年比115.0% 1兆9,945億円増)となりました。

元受共済契約高の推移



注1 契約高は、生命共済、こども共済、定期生命共済、終身共済および学生総合共済の各共済事業における死亡・重度障害共済金額の引受額の合計です。

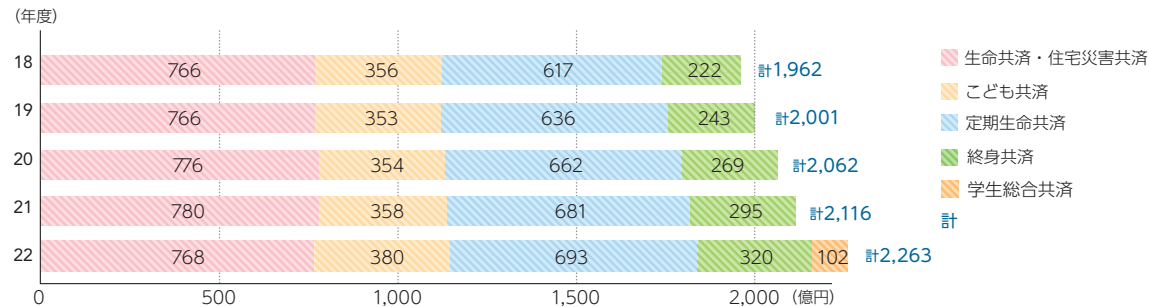
2 「生命共済」とは、『たすけあい』のジュニアコース以外のコースおよび『あいあい』の一部をさします。「こども共済」とは、『たすけあい』のジュニアコースをさします。「定期生命共済」とは、『あいがらす』をさします。「終身共済」とは、『ずっとあい』をさします。「学生総合共済」とは、『学生総合共済』および新社会人コースをさします。

共済掛金

受入共済掛金 ⇨ **2,263億円**

CO・OP共済グループ全体の受入共済掛金(元受共済)は、2,263億円(前年比106.9% 147億円増)となりました。

元受共済受入共済掛金の推移



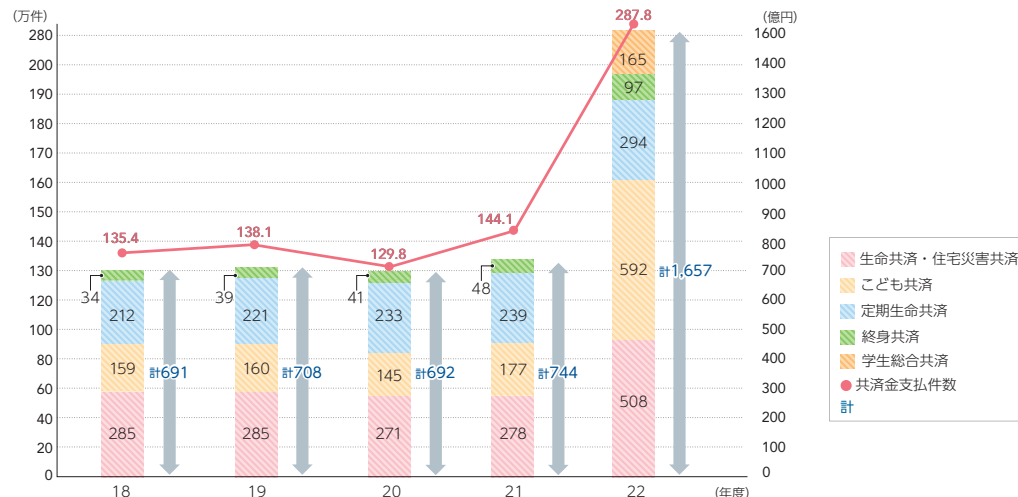
共済金

支払共済金 ⇨ **287万8,428件 1,657億円**

CO・OP共済グループ全体の共済金支払件数(元受共済)は、287万8,428件(前年比199.6% 1,436,646件増)となりました。

CO・OP共済グループ全体の支払共済金(元受共済)は、1,657億円(前年比222.7% 913億円増)となりました。

共済金支払件数と支払共済金額の推移



CO・OP共済のあゆみ

西 暦	CO・OP共済のあゆみ	社会・経済の状況
1979	●全国労働者共済生活協同組合連合会との「CO・OP共済に関する基本協定」にもとづきCO・OP共済(A型—セツ共済、B型—生命共済、C型—火災共済)を開始。	●スリーマイル島原発放射能漏洩事故 ●原油値上げ、供給削減(第2次石油危機)
1983	●日本生協連元受共済の準備を開始。 (日本生協連定款第3条に「組合員の生活の共済をはかる事業」を明記)	●イラン・イラク戦争 ●全国労働者共済生活協同組合連合会、こくみん共済を実施
1984	●《たすけあい》が厚生大臣の認可を受ける。 ●《たすけあい》(生命限度額100万円、入院見舞金2万円)を募集開始。 ●A型—セツ共済の募集停止。	●85年、G5によるプラザ合意 ●85年、日航ジャンボ機、御巣鷹山に墜落 ●85年、金融自由化本格始動
1986	●CO・OP共済運営委員会にて「地域生協における組合員共済事業のあり方」についての答申が出る。	●男女雇用機会均等法施行 ●チェルノブイリ原発事故
1987	●《たすけあい》の一部改定が認可され、入院見舞金を日額制に改定。 ●全国労働者共済生活協同組合連合会との基本協定を改定し、業務の受託を開始。 ●1986年答申により、《あいあい》を開発、募集開始。 ●B型—生命共済を募集停止、C型をCO・OP火災共済と名称変更。	●ニューヨーク株式市場22.6%下落(ブラックマンデー) ●国鉄分割・民営化決定 ●ソ連、ペレストロイカ導入
1989	●「CO・OP共済のめざすもの」として地域生協における共済事業の位置づけと中期ビジョンを日本生協連理事会で承認。 ●《あいあい》の限度額の引き上げと満期金特約の付帯を実施。	●昭和天皇逝去、平成に改元 ●消費税3%実施 ●日経平均株価最高記録38,915円
1990	●加入者10万人到達によって、総合共済限度額引き上げの厚生大臣許可を得て、《たすけあい》を制度改定。 ●《たすけあい》に月掛金700円・1,700円・2,700円の3コースを新設。	●東西ドイツ統一 ●イラク軍クウェート侵攻、91年湾岸戦争 ●ソ連11共和国、独立国家共同体を構成
1993	●《たすけあい》と《あいあい》に異常災害見舞金制度ができる。	●冷害による米凶作、外国産米輸入へ ●定期預金金利完全自由化
1994	●《たすけあい》に高齢者向けのコースと3900円コースを新設。 ●全国12か所で「保障の見直し講座」開催。第1回ライフプラン・アドバイザー(LPA)養成セミナー開催。ライフプランニング活動を開始。	●松本サリン事件 ●為替レート、戦後初100円突破 ●外資系生保が国内営業開始
1995	●《たすけあい》にこども向け1600円コースを新設。	●阪神・淡路大震災 ●地下鉄サリン事件
1996	●1989年に策定された「CO・OP共済のめざすもの」を補強修正し、「共済事業のめざすもの」を決定。 ●第1回ライフプラン講座開講。	●O157被害、全国に拡大 ●保険業法改正
1997	●《たすけあい》にこども向け1000円コースを新設。	●消費税率5%に引き上げ ●山一証券ほか金融機関の破綻相次ぐ
1998	●《たすけあい》に女性コースを新設。	●日本版金融ビッグバンスタート
1999	●こども共済事業規約の認可を受け、《たすけあい》ジュニア18コースを新設。こども向けコースをケガ通院コースに名称変更。	●情報公開法成立 ●JCO東海事業所で放射線臨界事故
2000	●《あいづらす》を開発、一部生協で募集開始。	●消費者契約法成立 ●雪印乳業製品食中毒事故 ●介護保険制度スタート
2001	●《あいづらす》の全国募集開始。	●米国同時多発テロ ●国内初のBSEを確認
2002	●《たすけあい》に医療コースを新設。	●公立学校完全週休2日制実施
2003	●《あいづらす》に生命2,000万円コース、入院(日額5,000円)付生命2,000万円コースを新設。	●イラク戦争 ●アジア各地で新型肺炎SARS流行
2004	●CO・OP共済コールセンターとして「コープ共済センター」を開所。 ●《たすけあい》ジュニア18コースにJ2000円コースを新設。 ●《たすけあい》ジュニア18コースの病気の入院保障を1泊2日から改善。 ●《あいづらす》に入院(日額10,000円)付生命コースを新設。	●新潟県中越地震 ●スマトラ沖地震 ●鳥インフルエンザ、アジア各地で広がる
2005	●《たすけあい》女性コースにL4000円コース、医療コースにV4000円コースを新設。 ●2700円コースと3900円コースをベーシックコースにリニューアル。 ●《たすけあい》女性コース、医療コースの病気の入院保障を1泊2日から改善。 ●《あいづらす》にがん特約を新設。	●個人情報保護法の全面施行 ●JR福知山線脱線事故 ●ペイオフ全面解禁 ●耐震偽装問題

西 暦	CO・OP共済のあゆみ	社会・経済の状況
2006	《たすけあい》ジュニア18コースの病気の入院保障を入院1日目からに改善。 《たすけあい》ジュニア18コース（J1000円コース）の加入引受基準を条件付加入により緩和。 《あいづらす》の掛金を改定（引き下げ）。	相次ぐ保険金不払い問題
2007	《たすけあい》女性コース、ベシックコース、シルバー70コース等の病気入院保障が1日目からに改善。 《新あいあい》を募集開始。	- 改正生協法の成立 - 牛肉コロッケなど食品偽装問題 - 郵政民営化による最大の保険会社の誕生
2008	- ライフプラン・アドバイザーが全国で2,000人を突破。 《たすけあい》大人向けコースで加入年齢および満期年齢の引き上げを実施。 - コープ共済連を設立。	- 保険商品の銀行窓販の全面解禁 「CO・OP手作り餃子」中毒事件 - サブプライムローン問題に端を発する世界同時不況
2009	- 元受実施会員生協および日本生協連から共済事業の譲受と共済契約の包括移転を実施。 《あいづらす》ゴールド80に医療型を新設。 - CO・OP共済5商品の加入者数が700万人を超える。	- 新型インフルエンザの世界的流行 - 裁判員裁判スタート - 完全失業率の悪化と雇用不安
2010	《たすけあい》ジュニア18コースに加入告知緩和型のJ1900円コースを新設。 《あいづらす》の加入者数が100万人を超える。	- 保険法施行 - 奄美地方で集中豪雨
2011	《ずっとあい》終身生命、《ずっとあい》終身医療を開発、募集開始。 - インターネット手続サービスを開始。	- 東日本大震災 - 欧州において財政悪化
2012	- CO・OP共済のキャラクター「コーすけ」が誕生。 - インターネットでの組合員の声受付システムを開始。 - 助成金制度（地域ささえあい助成）を開始。 《たすけあい》女性コースを改定。 「2020年をめざすCO・OP共済のありたい姿」を総会で承認。	2012国際協同組合年 - 対ドル、対円でユーロ安が進行
2013	《あいづらす》の生命保障加入限度額が2,000万円から3,000万円にアップ。 《あいづらす》に新がん特約を新設。 - CO・OP共済7商品の加入者数が800万人を超える。 - CO・OP共済が顧客満足度第1位獲得（JCSI調査結果生命保険部門）。 - コーすけがゆるキャラ®グランプリ2013で企業キャラ部門第1位獲得。	- 自動車損害賠償責任保険（自賠責保険）の保険料値上げ - インターネット選挙運動が解禁
2014	CO・OP共済が顧客満足度2年連続第1位獲得（JCSI調査結果生命保険部門）。	消費税率8%に引き上げ
2015	- CO・OP共済が顧客満足度3年連続第1位獲得（JCSI調査結果生命保険部門）。 《たすけあい》《あいづらす》《ずっとあい》で特定病気による加入告知基準を緩和。	- 関東・東北豪雨 - マイナンバーの通知開始
2016	- CO・OP共済が顧客満足度4年連続第1位獲得（JCSI調査結果生命保険部門）。 《たすけあい》に先進医療特約を新設。 《たすけあい》ジュニアコースの保障期間を満20歳までに延長。 - 厚生労働大臣から「えるぼし」最高位の認定を取得。	- 熊本・大分地震 - 鳥取県中部地震 - 協同組合の思想と実践がユネスコの「無形文化遺産」に登録
2017	《あいづらす》プラチナ85を新設。 - 健康づくり支援企画を開始。	九州北部豪雨
2018	《あいづらす》プラチナ85に先進医療特約の付帯が可能となる。	- JCA発足 - 大阪北部地震 - 西日本豪雨 - 北海道胆振東部地震
2019	CO・OP共済が3年ぶりに顧客満足度第1位獲得（JCSI調査結果生命保険部門）。	- 平成の天皇陛下退位、令和に改元 - 東日本で台風・大雨被害が多発 - 消費税率10%に引き上げ
2020	- 新型コロナウイルス感染拡大への対応として、影響を受けた組合員の掛金払込猶予期間を延長するとともに自宅や施設療養も入院とみなし共済金をお支払い。 - 第12回通常総会にて「CO・OP共済2030年ビジョン」を採択。 - CO・OP共済7商品の加入者数が900万人を超える。 - 受入共済掛金が2,000億円を超える。	- 新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大 - 東京オリンピック・パラリンピック延期を決定 - 令和2年7月豪雨
2021	《たすけあい》ジュニアコースの満期年齢を20歳から30歳に延長。 - 学生総合共済を大学生協共済連との共同引き受けにより募集開始。 - 新社会人コースが誕生。 - 新型コロナウイルス感染症に対し62億円をお支払い。 - CO・OP共済が2年ぶりに顧客満足度第1位獲得（JCSI調査結果生命保険部門）。	- 東京オリンピック・パラリンピックを無観客開催 7月、8月に集中豪雨
2022	《たすけあい》大人向けコース、告知緩やかコース誕生。 - 大学生協共済連より共済事業を全部譲受。 - 新型コロナウイルス関連で810億円支払い。（9月26日支払い対象を変更）	- ロシアがウクライナに軍事侵攻を開始 - 成人年齢18歳に引き下げ - 安倍元首相銃殺 - 円安や資源高で値上げ相次ぐ

	〈たすけあい〉	〈あいがらす〉	〈ずっとあい〉	〈学生総合共済〉	〈新あいあい〉	火災共済	マイカー共済
■ 北海道							
生活協同組合コープさっぽろ	○	○	○	○	○	○	○
生活クラブ生活協同組合(北海道)	○	○	○	○	○	○	○
室蘭工業大学生生活協同組合	○	○	○	○		○	
■ 青森県							
青森県庁消費生活協同組合	○	○	○	○		○	○
青森県民生活協同組合	○	○	○	○		○	○
生活協同組合コープあおもり	○	○	○	○	○	○	○
生活クラブ生活協同組合(青森)	○	○	○	○		○	○
■ 秋田県							
生活協同組合コープあきた	○	○	○	○		○	○
■ 岩手県							
岩手県学校生活協同組合	○	○	○	○		○	○
いわて生活協同組合	○	○	○	○	○	○	○
生活クラブ生活協同組合(岩手)	○	○	○	○		○	○
■ 宮城県							
生活協同組合あいコープみやぎ	○	○	○	○		○	○
みやぎ生活協同組合	○	○	○	○	○	○	○
■ 山形県							
生活協同組合共立社	○	○	○	○	○	○	○
生活クラブやまがた生活協同組合	○	○	○	○		○	○
■ 福島県							
生活協同組合あいコープふくしま	○	○	○	○		○	○
生活協同組合コープあいづ	○	○	○	○		○	○
生活協同組合パルシステム福島	○	○	○	○	○	○	○
生活クラブふくしま生活協同組合	○	○	○	○		○	○
■ 茨城県							
いばらきコープ生活協同組合	○	○	○	○	○	○	○
常総生活協同組合	○	○	○	○		○	○
生活協同組合パルシステム茨城栃木	○	○	○	○	○	○	○
生活クラブ生活協同組合(茨城)	○	○	○	○		○	○
茨城県庁生活協同組合	○	○	○	○	○	○	
■ 栃木県							
生活クラブ生活協同組合(栃木)	○	○	○	○		○	○
とちぎコープ生活協同組合	○	○	○	○	○	○	○
よつ葉生活協同組合	○	○	○	○		○	○
■ 群馬県							
生活協同組合コープぐんま	○	○	○	○	○	○	○
生活協同組合パルシステム群馬	○	○	○	○	○	○	○
生活クラブ生活協同組合(群馬)	○	○	○	○		○	○
■ 埼玉県							
埼玉県勤労者生活協同組合	○	○	○	○	○	○	○
生活協同組合コープみらい	○	○	○	○	○	○	○
生活協同組合パルシステム埼玉	○	○	○	○	○	○	○
生活クラブ生活協同組合(埼玉)	○	○	○	○		○	○

注1 2023年6月現在でそれぞれの共済商品を募集している会員生協に○を付けています。

2 会員生協は各都道府県内で五十音順に掲載しています。

3 *はCO・OP共済〈たすけあい〉の共同引受会員生協です。

4 会員生協の本部所在地の都道府県に記載しています。

	《たすけあい》	《あいづらす》	《ずっとあい》	《学生総合共済》	《新あいあい》	火災共済	マイカー共済
■ 千葉県							
生活協同組合パルシステム千葉	○	○	○	○	○	○	○
生活クラブ生活協同組合(千葉)	○	○	○	○		○	○
なのはな生活協同組合	○	○	○	○	○	○	○
■ 東京都							
自然派くらぶ生活協同組合	○	○	○	○		○	○
生活協同組合パルシステム東京	○	○	○	○	○	○	○
生活クラブ共済事業連生活協同組合連合会*							
生活クラブ生活協同組合(東京)	○	○	○	○		○	○
東京都学校生活協同組合						○	○
東都生活協同組合	○	○	○	○	○	○	○
パルシステム共済生活協同組合連合会*							
■ 神奈川県							
生活協同組合うらがCO-OP	○	○	○	○		○	○
生活協同組合ナチュラルコップヨコハマ	○	○	○	○		○	○
生活協同組合パルシステム神奈川	○	○	○	○	○	○	○
生活協同組合ユーコップ	○	○	○	○		○	○
生活クラブ生活協同組合(神奈川)	○	○	○	○		○	○
全日本海員生活協同組合	○	○	○	○			
福祉クラブ生活協同組合	○	○	○	○		○	○
富士フィルム生活協同組合	○	○	○	○		○	○
■ 新潟県							
生活協同組合コープデリにいがた	○	○	○	○	○	○	○
生活協同組合パルシステム新潟ときめき	○	○	○	○	○	○	○
■ 山梨県							
生活協同組合パルシステム山梨	○	○	○	○	○	○	○
生活クラブ生活協同組合(山梨)	○	○	○	○		○	○
■ 長野県							
生活協同組合コープながの	○	○	○	○	○	○	○
生活クラブ生活協同組合(長野)	○	○	○	○		○	○
長野県庁生活協同組合	○	○	○	○			
■ 富山県							
とやま生活協同組合	○	○	○	○	○	○	○
■ 石川県							
生活協同組合コープいしかわ	○	○	○	○	○	○	○
■ 福井県							
福井県民生活協同組合	○	○	○	○		○	○
■ 岐阜県							
岐阜県学校生活協同組合	○	○	○	○		○	○
生活協同組合コープぎふ	○	○	○	○	○	○	○
生活協同組合アイチョイス岐阜	○	○	○	○		○	○
■ 静岡県							
生活協同組合パルシステム静岡	○	○	○	○	○	○	○
生活クラブ生活協同組合(静岡)	○	○	○	○		○	○

	〈たすけあい〉	〈あいがらす〉	〈ずっとあい〉	〈学生総合共済〉	〈新あいあい〉	火災共済	マイカー共済
■ 愛知県							
あいち生活協同組合	○	○	○	○		○	○
一宮生活協同組合	○	○	○	○		○	○
かりや愛知中央生活協同組合	○	○	○	○		○	○
生活協同組合コープあいち	○	○	○	○	○	○	○
生活クラブ生活協同組合(愛知)	○	○	○	○		○	○
トヨタ生活協同組合	○	○	○	○		○	○
■ 三重県							
生活協同組合コープみえ	○	○	○	○	○	○	○
■ 滋賀県							
生活協同組合コープしが	○	○	○	○	○	○	○
生活クラブ生活協同組合(滋賀)	○	○	○	○		○	○
グリーンコープしがまる生活協同組合	○	○	○	○		○	○
■ 京都府							
京都市民共済生活協同組合	○	○	○	○		○	○
京都生活協同組合	○	○	○	○	○	○	○
生活協同組合コープ自然派京都	○	○	○	○		○	○
生活協同組合生活クラブ京都エル・コープ	○	○	○	○		○	○
■ 大阪府							
大阪いずみ市民生活協同組合	○	○	○	○		○	○
大阪学校生活協同組合	○	○	○	○			
大阪市民共済生活協同組合	○	○	○	○			
大阪よどがわ市民生活協同組合	○	○	○	○	○	○	○
グリーンコープ生活協同組合おおさか	○	○	○	○		○	○
生活協同組合エスコープ大阪	○	○	○	○		○	
生活協同組合おおさかパルコープ	○	○	○	○	○	○	○
生活協同組合コープ自然派おおさか	○	○	○	○		○	○
生活クラブ生活協同組合大阪	○	○	○	○		○	○
泉南生活協同組合	○	○	○	○		○	○
■ 兵庫県							
尼崎市民共済生活協同組合	○	○	○	○			
神戸市民生活協同組合	○	○	○	○			
生活協同組合コープこうべ	○	○	○	○	○	○	
神戸大学生生活協同組合	○	○	○	○			
生活協同組合コープ自然派兵庫	○	○	○	○		○	○
生活クラブ生活協同組合都市生活	○	○	○	○		○	○
西宮市民共済生活協同組合	○	○	○	○			
姫路市民共済生活協同組合	○	○	○	○			
■ 奈良県							
市民生活協同組合ならコープ	○	○	○	○	○	○	○
生活協同組合コープ自然派奈良	○	○	○	○		○	○
生活クラブ生活協同組合(奈良)	○	○	○	○		○	○
■ 和歌山県							
わかやま市民生活協同組合	○	○	○	○		○	○
■ 鳥取県							
グリーンコープ生活協同組合とっとり	○	○	○	○		○	○
鳥取県生活協同組合	○	○	○	○	○	○	○
■ 島根県							
グリーンコープ生活協同組合(島根)	○	○	○	○		○	○
島根県学校生活協同組合	○	○	○	○			
生活協同組合しまね	○	○	○	○	○	○	○

	《たすけあい》	《あいがらす》	《ずっとあい》	《学生総合共済》	《新あいあい》	火災共済	マイカー共済
■ 岡山県							
グリーンコープ生活協同組合おかやま	○	○	○	○		○	○
生活協同組合おかやまコープ	○	○	○	○	○	○	○
三井造船生活協同組合	○	○	○	○		○	○
■ 広島県							
グリーンコープ生活協同組合ひろしま	○	○	○	○		○	○
生活協同組合ひろしま	○	○	○	○	○	○	○
竹原生活協同組合	○	○	○	○		○	○
日立造船因島生活協同組合	○	○	○	○			○
■ 山口県							
グリーンコープやまぐち生活協同組合	○	○	○	○		○	○
生活協同組合コープやまぐち	○	○	○	○		○	○
山口県学校生活協同組合	○	○	○	○			
■ 徳島県							
生活協同組合コープ自然派しこく	○	○	○	○		○	○
生活協同組合とくしま生協	○	○	○	○		○	○
徳島県学校生活協同組合	○	○	○	○			
■ 香川県							
香川県学校生活協同組合	○	○	○	○			
生活協同組合コープかがわ	○	○	○	○	○	○	○
■ 愛媛県							
生活協同組合コープえひめ	○	○	○	○		○	○
■ 高知県							
高知県学校生活協同組合	○	○	○	○			
こうち生活協同組合	○	○	○	○		○	○
■ 福岡県							
エフコープ生活協同組合	○	○	○	○		○	○
グリーンコープ共済生活協同組合連合会*							
グリーンコープ生活協同組合ふくおか	○	○	○	○		○	○
福岡県民火災共済生活協同組合	○	○	○	○		○	○
■ 佐賀県							
グリーンコープ生活協同組合さが	○	○	○	○		○	○
コープさが生活協同組合	○	○	○	○	○	○	○
■ 長崎県							
グリーンコープ生活協同組合(長崎)	○	○	○	○		○	○
生活協同組合ララコープ	○	○	○	○	○	○	○
■ 熊本県							
グリーンコープ生活協同組合くまもと	○	○	○	○		○	○
生活協同組合くまもと	○	○	○	○	○	○	○
■ 大分県							
グリーンコープ生活協同組合おおい	○	○	○	○		○	○
生活協同組合コープおおい	○	○	○	○		○	○
日田市民生活協同組合	○	○	○	○		○	○
■ 宮崎県							
グリーンコープ生活協同組合みやざき	○	○	○	○		○	○
生活協同組合コープみやざき	○	○	○	○	○	○	
■ 鹿児島県							
グリーンコープかごしま生活協同組合	○	○	○	○		○	○
生活協同組合コープかごしま	○	○	○	○	○	○	○
■ 沖縄県							
沖縄県学校生活協同組合	○	○	○	○		○	○
生活協同組合コープおきなわ	○	○	○	○	○	○	○

大学生協一覧 (CO・OP学生総合共済を取り扱っている生協)

■北海道

北海道大学生生活協同組合
北海学園生活協同組合
酪農学園生活協同組合
札幌学院大学生生活協同組合
北星学園生活協同組合
北海道教育大学生生活協同組合
札幌大学生生活協同組合
小樽商科大学生活協同組合
帯広畜産大学生生活協同組合
北見工業大学生生活協同組合
釧路公立大学生生活協同組合
公立はこだて未来大学生生活協同組合
旭川市立大学生生活協同組合

■青森県

弘前大学生生活協同組合
弘前学院生活協同組合

■岩手県

岩手大学生生活協同組合
盛岡大学生生活協同組合
岩手県立大学生生活協同組合

■宮城県

東北大学生生活協同組合
東北学院大学生生活協同組合
東北工業大学生生活協同組合
宮城大学生生活協同組合
宮城教育大学生生活協同組合
尚絅学院大学生生活協同組合
宮城学院生活協同組合
大学生生活協同組合みやぎインターカレッジコープ

■秋田県

秋田大学生生活協同組合

■山形県

山形大学生生活協同組合

■福島県

福島大学生生活協同組合

■茨城県

茨城大学生生活協同組合
茨城キリスト教学園生活協同組合

■栃木県

宇都宮大学消費生活協同組合
足利大学生生活協同組合

■群馬県

群馬大学生生活協同組合
高崎経済大学生生活協同組合
太田情報・医療・自動車専門学校生活協同組合
前橋工科大学生活協同組合

■埼玉県

埼玉大学生生活協同組合
跡見学園女子大学生生活協同組合
大東文化学園生活協同組合
十文字学園生活協同組合
淑徳大学みずほ台生活協同組合
芝浦工業大学消費生活協同組合

■千葉県

千葉大学生生活協同組合
千葉商科大学生活協同組合
東邦大学消費生活協同組合

■東京都

東京外国語大学生生活協同組合
お茶の水女子大学消費生活協同組合
東京医科歯科大学生活協同組合
武蔵学園生活協同組合
東京芸術大学生生活協同組合
日本女子大学生生活協同組合
東洋大学生生活協同組合
法政大学生生活協同組合
東京大学消費生活協同組合
早稲田大学生生活協同組合
東京理科大学消費生活協同組合
東京電機大学生生活協同組合
工学院大学学園生活協同組合
東京海洋大学生生活協同組合
東京工業大学生生活協同組合
明治学院消費生活協同組合
東京都立大学生生活協同組合
日本社会事業大学生生活協同組合
星薬科大学生活協同組合
東京農業大学生生活協同組合
昭和大学生生活協同組合
日本赤十字看護大学生生活協同組合
東京工業高等専門学校生活協同組合
東京経済大学生生活協同組合
東京学芸大学生生活協同組合
東京農工大学消費生活協同組合
電気通信大学生生活協同組合
東京薬科大学生活協同組合
一橋大学消費生活協同組合
津田塾大学生生活協同組合
白梅学園生活協同組合
和光学園生活協同組合
桜美林学園消費生活協同組合
日本獣医生命科学大学生生活協同組合
明治薬科大学生活協同組合
生活協同組合東京インターカレッジコープ

■神奈川県

慶應義塾生活協同組合
横浜国立大学生生活協同組合
横浜市立大学生生活協同組合
宇宙科学研究所生活協同組合
神奈川大学生生活協同組合
東京工芸大学生生活協同組合
麻布大学生生活協同組合

■新潟県

新潟大学生生活協同組合
新潟県立大学生生活協同組合
新潟青陵大学・短期大学生生活協同組合

■富山県

富山大学生生活協同組合
富山県立大学生生活協同組合
富山高専専門学校生活協同組合

■石川県

金沢大学生生活協同組合
石川工業高等専門学校生活協同組合

■福井県

福井大学生生活協同組合

■山梨県

山梨大学生生活協同組合
山梨県立大学生生活協同組合

■長野県

信州大学生生活協同組合
長野大学生生活協同組合
長野県立大学生生活協同組合
長野県看護大学生生活協同組合
松本大学生生活協同組合
清泉女学院生活協同組合

■岐阜県

岐阜大学消費生活協同組合
岐阜市立女子短期大学生生活協同組合

■静岡県

静岡大学生生活協同組合
静岡文化芸術大学生生活協同組合

■愛知県

愛知大学生生活協同組合
名古屋大学消費生活協同組合
愛知教育大学生生活協同組合
名古屋工業大学生生活協同組合
名古屋市立大学生生活協同組合
愛知県公立大学生生活協同組合
日本福祉大学生生活協同組合
中京大学生生活協同組合
名城大学生生活協同組合
自然科学研究機構岡崎生活協同組合
金城学院大学生生活協同組合
生活協同組合インターカレッジコープ愛知
日本赤十字豊田看護大学生生活協同組合

■三重県

三重大学生生活協同組合
三重短期大学生生活協同組合
三重県立看護大学生生活協同組合

■滋賀県

滋賀県立大学生生活協同組合
滋賀大学大津地区生活協同組合
滋賀大学彦根地区生活協同組合
滋賀医科大学生生活協同組合

■京都府

京都大学生生活協同組合
同志社生活協同組合
立命館生活協同組合
京都府立医科大学・
京都府立大学生生活協同組合
龍谷大学生生活協同組合
京都教育大学生生活協同組合
京都工芸繊維大学生生活協同組合
京都橘学園生活協同組合
京都経済短期大学生生活協同組合

■大阪府

大阪樟蔭女子大学生生活協同組合
大学生生活協同組合大阪インターカレッジコープ
近畿大学生生活協同組合
大阪経済大学生生活協同組合
大阪教育大学生生活協同組合
阪南大学生生活協同組合
大阪大学生生活協同組合
大阪電気通信大学生生活協同組合
大阪千代田短期大学生生活協同組合
千里金蘭大学生生活協同組合
大阪公立大学生生活協同組合

■兵庫県

関西学院大学生生活協同組合
神戸市外国語大学消費生活協同組合
甲南大学生生活協同組合
兵庫県立大学生生活協同組合
神戸薬科大学生生活協同組合
神戸親和大学生生活協同組合
園田学園女子大学生生活協同組合
大手前大学生生活協同組合
甲南女子大学生生活協同組合
神戸市立工業高等専門学校生活協同組合

■奈良県

奈良女子大学生生活協同組合
奈良教育大学生生活協同組合
奈良県立大学生生活協同組合
奈良工業高等専門学校生活協同組合

■和歌山県

和歌山大学消費生活協同組合
和歌山県立医科大学生活協同組合

■鳥取県

鳥取大学生生活協同組合

■島根県

島根大学生生活協同組合

■岡山県

岡山大学生生活協同組合
就実生活協同組合

■広島県

広島大学消費生活協同組合
広島修道大学生生活協同組合
福山市立大学生生活協同組合

■山口県

下関市立大学生生活協同組合
水産大学校生活協同組合
山口大学生生活協同組合
梅光学院大学生生活協同組合
山口県立大学生生活協同組合

■徳島県

徳島大学生生活協同組合

■香川県

香川大学生生活協同組合
四国学院生活協同組合

■愛媛県

松山大学生生活協同組合
愛媛大学生生活協同組合
松山東雲女子大学・
松山東雲短期大学生生活協同組合

■高知県

高知大学生生活協同組合
高知県公立大学生生活協同組合

■福岡県

福岡教育大学生生活協同組合
九州工業大学生生活協同組合
北九州市立大学生生活協同組合
福岡女子大学生生活協同組合
九州大学生生活協同組合
西南学院大学生生活協同組合
福岡県立大学生生活協同組合
九州国際大学生生活協同組合
西南女学院大学生生活協同組合

■佐賀県

佐賀大学生生活協同組合

■長崎県

長崎県立大学佐世保校生活協同組合
長崎大学生生活協同組合
純心大学生生活協同組合
長崎県立大学シーボルト校生活協同組合

■熊本県

熊本大学生生活協同組合
生活協同組合熊本インターカレッジ
コープアカデミア

■大分県

大分大学生生活協同組合

■宮崎県

宮崎大学生生活協同組合
南九州学園生活協同組合

■鹿児島県

鹿児島大学生生活協同組合
鹿児島県立短期大学生生活協同組合

■沖縄県

琉球大学生生活協同組合
沖縄大学生生活協同組合

注1 室蘭工業大学生生活協同組合と神戸大学生生活協同組合は、《学生総合共済》以外にもCO・OP共済を取り扱っているため、p.110～の地域生協一覧に掲載しています。

注2 会員生協の本部所在地の都道府県に記載しています。

あ

■ 異常危険準備金 (いじょうきけんじゅんびきん)

共済掛金は過去の死亡率や入院・手術等の発生率を基礎として計算されますが、これらは経験的なものであって、これを超える異常な事態の発生に備えて積み立てる責任準備金のことです。貸借対照表では共済契約準備金の中の責任準備金に表示されます。

■ 異常災害見舞金 (いじょうさいがいみまいきん)

地震、津波または噴火による災害が発生した場合、「異常災害見舞金規則」の適用により共済契約者世帯に支払う見舞金です。異常災害見舞金の対象となる商品はCO・OP共済《たすけあい》、CO・OP共済《あいぷらす》、CO・OP共済《ずっとあい》、CO・OP学生総合共済です。

■ 受入共済掛金 (うけいれきょうさいかけきん)

共済契約者から払い込まれた共済掛金のことです。共済掛金の内容はつぎのように構成されています。
①純掛金(共済金のお支払いにあてる掛金)②付加掛金(契約管理や共済金のお支払い等の経費にあてる掛金)。受入共済掛金は損益計算書で経常収益に計上されます。

■ 受入共済金 (うけいれきょうさいきん)

再共済契約にもとづいて出再先から受け入れた再共済金のことです。受入共済金は損益計算書で経常収益に計上されます。

■ 受入受託手数料 (うけいれじゅたくてすうりょう)

業務受託に伴い受け入れた手数料をいいます。受入受託手数料は損益計算書で経常収益に計上されます。

か

■ 解約失効率 (かいはくしっこうりつ)

加入者数に対する1年間の解約・失効件数の割合のことをいいます。「解約失効率=期中解約・失効件数÷平均加入者数(年間の加入者数合計÷12か月)」で算出します。

■ 解約返戻金 (かいはくへんれいきん)

共済契約が解約された際に返還する返戻金です。CO・OP共済では、CO・OP共済《ずっとあい》終身生命とCO・OP共済《ずっとあい》終身医療の一部、CO・OP共済《あいぷらす》(プラチナ85を除く)で解約返戻金があります。

※CO・OP共済《ずっとあい》終身医療については、共済掛金の払込期間満了後に解約された場合に解約返戻金を支払います。

■ 価格変動準備金 (かかくへんどうじゅんびきん)

資産の価格が将来下落したときに生じる損失に備えるため、所有する資産に応じて積み立てが定められた準備金です。その繰入額は損益計算書の特別損失に計上されます。

■ 危険差益(損) (きけんさえき(そん))

想定した共済金と実際に支払った共済金の差額による利益(損失)のことです。生命共済では、死差益(損)ともいいます。

■ 基礎利益 (きそりえき)

共済事業の収益を示す指標で、経常剰余から有価証券売却損益などのキャピタル損益と臨時損益を控除したものです。

■ 共済掛金積立金 (きょうさいかけきんつみたてきん)

長期共済の共済金支払いのための積立金のことです。長期共済では、共済掛金を平準化するため、共済期間の前半では共済掛金の一部を共済掛金積立金として積み立てて、後半で積立部分を取り崩し充当するように商品設計されています。法令により平準純共済掛金式で積み立てています。貸借対照表では共済契約準備金の中の責任準備金に表示されます。

■ 共済計理人 (きょうさいけいりにん)

共済の数理についての必要な知識および経験を有し、共済掛金の算出方法や共済の数理に関する事項に関与する人です。生協法では、共済事業を実施する組合は、理事会において共済計理人を選出することが規定されています。

さ

■ 共済契約準備金 (きょうさいけいやくじゅんびきん)

共済契約にともなって発生する将来の支払いのための準備金のことです。支払備金、責任準備金(未経過共済掛金・共済掛金積立金・異常危険準備金)、割戻準備金に大別されます。貸借対照表の負債の部に表示されます。

■ 共同引受 (きょうどうひきうけ)

複数の元受団体(共済者)が、共同して共済契約を引受けることをいいます。再保険や再共済と異なり、各団体は共済契約に対し、それぞれの引受割合(額)に応じた共済責任を単独個別に持ちます。通常は代表して1つの団体が事務、管理等を行います。

■ 契約者割戻金 (けいやくしゃわりもどしきん)

共済契約者に還元する割戻金の一種です。毎事業年度の決算で剰余が生じた場合、その中から共済者(コープ共済連)が割戻準備金として積み立て、共済契約者に還元します。

■ 契約高増加率 (けいやくだかぞうかりつ)

共済契約高が年間で増加した割合のことです。死亡保障総額の成長率を示す指標です。「契約高増加率＝期中契約高増加額÷前期末契約高」で算出します。

■ 健康告知事項 (けんこうこくちじこう)

契約引受団体が共済契約の申込み時に、共済契約者または被共済者に関する重要な事実(生命共済では病歴・通院状況など)を確認するための質問事項をいいます。

■ コープ共済センター (コールセンター)

(こーぷきょうさいせんたー (こーるせんたー))

電話等を使った組合員・共済契約者窓口の総称で、CO・OP共済の各種お問い合わせ、共済金請求などの窓口です。組合員からの電話でのお問い合わせ、共済金請求の受付、必要書類の発送を行います。

■ 事業費率 (じぎょうひりつ)

実際にかかった事業経費の収入掛金(正味共済掛金)に対する割合のことをいいます。「事業費率＝(事業経費－受入受託手数料)÷(受入共済掛金－支払共済掛金＋未経過共済掛金戻入額－未経過共済掛金繰入額)」で算出します。

■ 支払共済掛金 (しはらいきょうさいかけきん)

再共済契約にもとづいて出再先に支払った再共済掛金のことです。支払共済掛金は損益計算書で経常費用に計上されます。

■ 支払共済金 (共済金支払金額)

(しはらいきょうさいきん (きょうさいきんしはらいきんがく))

共済事業規約にもとづき共済事由が生じた場合に共済金の受取人に支払った共済金のことです。支払共済金は損益計算書で経常費用に計上されます。

■ 支払備金 (しはらひびきん)

法令にもとづき、共済事故が発生しかつ共済金請求を受付済のもので、決算日において共済金の支払いが済んでいない場合に、支払共済金相当額を支払備金として繰り入れます。また、支払事由の発生の報告は受けていないが、その支払事由が既に発生したと認める金額についても、支払備金として繰り入れます。期末において前年度に繰り入れた金額を戻し入れ、今年度分を繰り入れます。支払備金は、貸借対照表では共済契約準備金に表示されます。

■ 支払余力比率 (しはらいよりよくひりつ)

通常の予測を超えたリスクに対応できる「支払余力」を有しているかどうかの一指標です。コープ共済連では、厚生労働省が定めている「消費生活協同組合法施行規則ならびに施行規程」にもとづいて算出しています。そのため、生命保険会社、損害保険会社のソルベンシー・マージン比率とは単純に比較はできません。厚生労働省の告示によれば、上記比率は、200%以上必要とされています。

■ 支払率 (しはらいりつ)

共済掛金に占める共済金の割合のことです。算出方法は以下のとおりです。「支払率=(支払共済金-受入共済金-支払備金戻入額+支払備金繰入金)÷(受入共済掛金-支払共済掛金+未経過共済掛金戻入額-未経過共済掛金繰入額)」で算出します。

■ 重要事項説明書 (じゅうようじこうせつめいしょ)

(ご契約にあたってご了承ください)

契約時に、加入(契約)申込書とともに申込者に交付している共済事業規約および細則の要約文書のことです。共済契約の締結に際して、共済契約者が共済商品の基礎的な事項について事前に理解したうえで契約手続きを行えるよう必ず付記しています。

■ 責任準備金 (せきにんじゅんびきん)

共済契約にもとづく将来における債務の履行に備えるために、法令で定められた準備金です。未経過共済掛金、共済掛金積立金、異常危険準備金が該当します。

は

■ 費差益(損) (ひさえき(そん))

想定した事業経費と実際の事業経費の差額による利益(損失)のことです。

■ 付加掛金 (ふかかけきん)

共済掛金のうち事業経費等にあてる部分の掛金のことです。

■ 保有契約高 (ほゆうけいやくだか)

コープ共済連および会員生協が現在保有している契約に関して基本契約である死亡保障金額の合計額を保有契約高としています。

ま

■ 未経過共済掛金 (みけいかきょうさいかけきん)

法令にもとづく責任準備金の一つです。当期に受け入れた共済掛金の一部を期末に未経過共済掛金として繰り入れます。期末において継続する共済契約の未経過の期間に対する掛金です。期末において前年度に繰り入れた金額を戻し入れ、今年度分を繰り入れます。貸借対照表では共済契約準備金の中の責任準備金に表示されます。

ら

■ ライフプラン・アドバイザー (LPA)

(らいふぷらん・あどばいざー (エルピーイー))

コープ共済連の所定のライフプラン・アドバイザー養成セミナーを修了した人で、生協LPAまたはLPAと呼称します。くらしの保障についての学習を行う専門知識を持ち、組合員向けの保障の見直し学習会などを企画・運営し、講師対応や組合員のライフプランについてのアドバイスをを行います。

■ 利源 (りげん)

剰余金の発生源のことです。共済掛金は予定基礎率にもとづき計算されており、各予定と実績の差により剰余金が生じることになります。剰余の利源は、①予定発生率と実際発生率との差による危険差損益②予定利率と実際利回りとの差による利差損益③予定事業経費と実際の事業経費との差による費差損益の3つがあります。

■ 利差益(損) (りさえき(そん))

実際の資産運用益と想定した資産運用益の差額による利益(損失)のことです。

わ

■ (契約者) 割戻準備金

((けいやくしゃ) わりもどしじゅんびきん))

共済契約者へ割戻しするための原資として繰り入れる準備金のことです。貸借対照表では共済契約準備金に表示されます。

消費生活協同組合法施行規則にもとづく索引

消費生活協同組合法施行規則 第209条

一 組合の概況及び組織に関する次に掲げる事項

- イ 業務運営の組織…………… 6
- ロ 役員の氏名及び役職名…………… 63
- ハ 事務所の名称及び所在地…………… 62

二 組合の主要な業務の内容…………… 62

三 組合の主要な業務に関する次に掲げる事項

- イ 直近の事業年度における事業の概況…………… 15
- ロ 直近の五事業年度における主要な業務の状況を示す指標として次に掲げる事項…………… 16

- (1) 経常収益
- (2) 経常剰余金又は経常損失金
- (3) 当期剰余金又は当期損失金
- (4) 出資金及び出資口数
- (5) 純資産額
- (6) 総資産額
- (7) 責任準備金残高
- (8) 貸付金残高
- (9) 有価証券残高
- (10) 支払余力比率
- (11) 法第五十二条第二項の区分ごとの剰余金の配当の金額
- (12) 職員数
- (13) 保有契約高又は正味収入共済掛金の額

- ハ 法第五十三条の十八第一項に規定する共済事業専門組合にあっては、直近の二事業年度における事業の状況を示す指標として別表第三の上欄に掲げる項目の別に応じ同表の下欄に定める記載事項

別表第三

■ 主要な業務の状況を示す指標

- 一 共済種類別新契約高及び保有契約高
又は元受共済掛金…………… 71
- 二 共済契約種類別保障機能別保有契約高…………… 72
- 三 共済種類別支払共済金の額…………… 75
- 共済契約に関する指標
- 一 共済種類別保有契約増加率…………… 71
- 二 新契約平均共済金額及び保有契約平均共済金額…………… 76
- 三 解約失効率…………… 76
- 四 月払契約の新契約平均共済掛金…………… 76
- 五 契約者割戻しの状況…………… 77
- 六 再共済又は再保険を引受けた主要な会社数…………… 82
- 七 上位五社に対する支払再共済掛金又は支払再保険料の割合…………… 82
- 八 格付機関による格付に基づく区分ごとの支払再保険料の割合…………… 83
- 九 未収再共済金又は再保険金の額…………… 83
- 十 第三分野共済の共済契約に係る給付事由又は共済事業の種類ごとの発生共済金額の経過共済掛金に対する割合…………… 83

■ 経理に関する指標

- 一 責任準備金の積立方式及び積立率…………… 85
- 二 共済種類別契約者割戻準備金明細…………… 85
- 三 引当金明細…………… 85
- 四 区分ごとの法定準備金及び任意積立金明細…………… 86
- 五 事業経費の明細…………… 87

■ 資産運用に関する指標

- 一 主要資産の区分別平均残高…………… 88
- 二 主要資産の区分別構成及び増減…………… 88
- 三 主要資産の区分別運用利回り…………… 88

- 四 区分別の資産運用収益明細…………… 89
- 五 区分別の資産運用費用明細…………… 89
- 六 利息及び配当金収入等明細…………… 89
- 七 有価証券の種類別残高…………… 90
- 八 有価証券の種類別の残存期間別残高…………… 90
- 九 業種別保有株式の額…………… 92
- 十 共済契約貸付及び業種別の貸付金残高並びに
当該貸付金残高の合計に対する割合…………… 92
- 十一 使途別の貸付金残高…………… 92
- 十二 担保の種類別貸付金残高…………… 92
- 十三 区分別の海外投資残高…………… 92
- 十四 海外投資の地域別構成…………… 92
- 十五 海外投資運用利回り…………… 92
- その他の指標
- 業務用固定資産残高…………… 97

四 契約年度別責任準備金残高及び予定利率…………… 83

五 組合の業務の運営に関する次に掲げる事項

- イ リスク管理の体制…………… 38
- ロ 法令遵守の体制…………… 39
- ハ 法第五十条の十二第一項第一号の確認(第三分野共済の共済契約に係るものに限る。)の合理性及び妥当性…………… 38

六 組合の直近の二事業年度における財産の状況に関する次に掲げる事項

- イ 貸借対照表、損益計算書及び剰余金処分計算書
又は損失金処理計算書…………… 98
- ロ 貸付金のうち次に掲げるものの額及びその合計額…………… 93
- (1) 破綻先債権に該当する貸付金
- (2) 延滞債権に該当する貸付金
- (3) 三月以上延滞債権に該当する貸付金
- (4) 貸付条件緩和債権に該当する貸付金
- ハ 債権について、債務者の財政状態及び経営成績等を基礎として次に掲げるものに区分することにより得られる各々に関し貸借対照表に計上された金額…………… 93
- (1) 破産更生債権及びこれらに準ずる債権
- (2) 危険債権
- (3) 要管理債権及び条件緩和貸付金
- (4) 正常債権
- ニ 共済金等の支払能力の充実状況…………… 95
- ホ 次に掲げるものに関する取得価額又は契約価額、
時価及び評価損益…………… 93
- (1) 有価証券
- (2) 金銭の信託
- (3) デリバティブ取引
- ヘ 貸倒引当金の期末残高及び期中の増減額…………… 85
- ト 貸付金償却の額…………… 89

消費生活協同組合法施行規則 第211条

一 組合及び子会社等の概況に関する次に掲げる事項

- イ 組合及びその子会社等の主要な事業の内容及び
組織の構成 64
- ロ 組合の子会社等に関する次に掲げる事項 64
 - (1) 名称
 - (2) 主たる営業所又は事務所の所在地
 - (3) 資本金又は出資金
 - (4) 事業の内容
 - (5) 設立年月日
 - (6) 組合が有する子会社等の議決権の総株主、総社員又は
総出資者の議決権に占める割合
 - (7) 組合の一の子会社等以外の子会社等が有する当該一の子会社等の
議決権の総株主、総社員又は総出資者の議決権に占める割合

コーすけえかきうた (Youtube)

<https://www.youtube.com/watch?v=LpKwIINiYYg>



二次元コードはこちら▶▶



Instagram



mamaomoi



コーすけのブランドサイト

CO・OP共済 事業のご報告

ANNUAL REPORT 2023

発行日：2023年8月

発行：日本コープ共済生活協同組合連合会

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷4丁目1番13号

電話：03-6836-1320 (渉外・広報部)

ホームページ：<https://coopkyosai.coop>



明日の暮らし、ささえあう

CO・OP 共済



この印刷物は植物油インキを使用しています。



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。